

# 元プロ野球ヒーローを迎えて

平成 19 年度  
総会・懇親会



**発行人**  
静岡県立静岡商業高等学校  
同窓会 関東支部  
(静岡同窓会関東支部)  
〒105-0014  
東京都港区芝 2 丁目 31-19  
B Zビル 1F  
TEL 03(5443)9230  
FAX 03(5443)9231

**編集**  
関東支部広報部会  
平成 20 年 5 月 28 日発行  
(毎年 1 回・5 月発行)  
題字 湯本克巳氏  
第 17 号

平成十九年七月十四日(土)、折しもお盆、三連休の初日、さらには台風の接近にもかかわらず、162名の関東在住の同窓生が、今年も、東京プリンス・ガーデンプレイスに集まった。母校からは平祐人教頭、恩師稲葉茂男先生、同窓会本部からは、平野健市会長、中村・桑原・下村副会長、赤石幹事長が列席された。



## 海野昭支部長が再任

### 小林幸義幹事長と 鈴木一晴会計監査 が新任される

総会では、会計報告・予算案が満場一致で承認され、2年に一度の役員改選が行われた。海野支部長、宗野・西島副支部長、鈴木会計、織部会計監査が再任された。そして、富田会計監査と、鈴木皓介幹事長の死去により空席だった会計監査に、鈴木一晴氏(S38年卒)が、幹事長には小林幸義氏(S42年卒)が新任された。



## 九十一歳

### お元気な稲葉茂男先生

冒頭、恩師の稲葉茂男先生にスピーチをいただいた。九十一歳のご高齢とは見えないお元気な姿と「命の大切さ」「長寿の秘訣」を説いたお話には、老若男女の同窓生の全員が納得した。

会場内に設置された大形ディスプレイには、静岡第一テレビや日本テレビで放映された「バンククの土俵」という静岡相撲部出身の同窓生のSUMOと歩んだ人生の友情ドキュメント番組、

**H20年の  
総会・懇親会  
7/12(土)**

詳しくは  
16ページと号外を  
ご覧ください

そのあと、昨年の三十二年振りの甲子園出場の感動を再びと、今年の当番幹事(S29・S39・S49・S59・H6年卒)が企画する懇親会に移った。



## 「静岡野球部OB・往年の名選手による記念座談会」

に注目が集まった。往年の名選手、藤波行雄氏、新浦壽夫氏、池谷公二郎氏、秋田秀幸氏、と2005年県大会決勝進出の杉山、諏訪部君、昨年甲子園出場の稲口、北原君を加えて、8名の母校球児が登壇した。さすが伝統ある静岡ならではの、豪華メンバーが揃った。

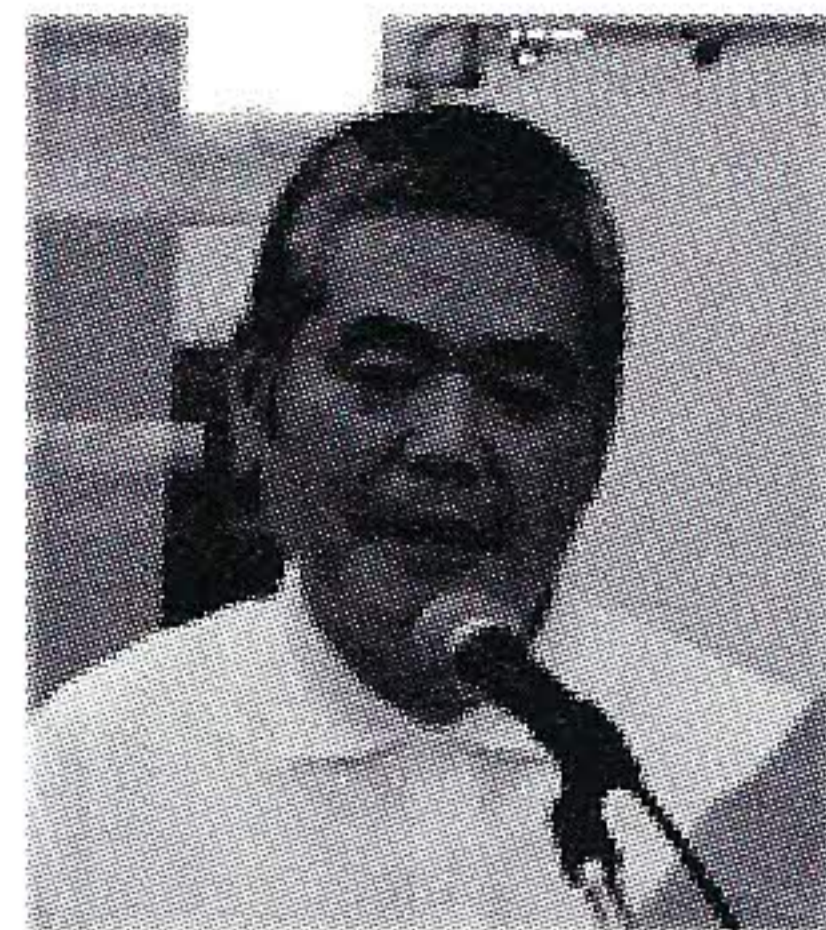
最後は、恒例となった応援団OB会&チアOG会による応援パフォーマンスで、応援歌、エール、校歌を高くに奏でた。昨年の甲子園出場と興奮した、あの勢いがこの会場に再び渦を巻いた。



た。昔も今も、静岡が、友達、仲間が大好きな、今年の同窓会は、興奮のまま幕を閉じた。



# 当番幹事で貴重な経験



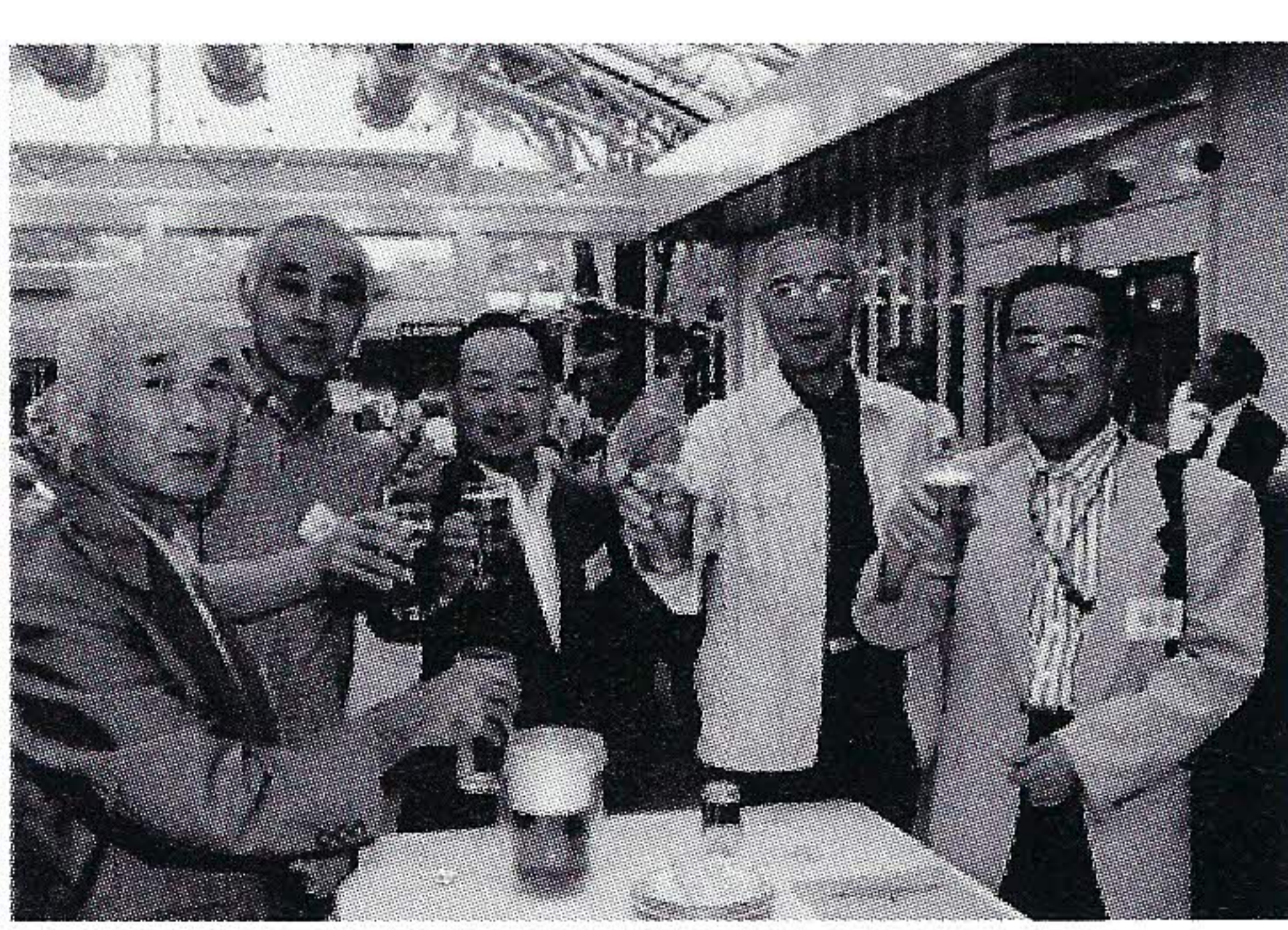
川崎 衛 (39年卒)

## 初めての参加

同期が少なく  
当番幹事に不安

平成19年度の関東支部  
総会・懇親会の当番幹事は  
昭和29年・39年・49年・59  
年・平成6年卒が担うこと  
になりました。静商同窓会  
関東支部が毎年関東在住の  
同窓生を招集して何か集い  
を開催していることを私が  
知ったのは、関西から転勤  
して数年が経過していた頃  
でした。

同期の青柳秀雄君から、  
「同窓会総会は有意義で凄  
く楽しい集まりだから騙さ  
れたと思って出席してみな  
いか」と熱心に誘われ、渋々  
参加したのが第一歩です。  
初参加したのは平成13  
年、会場は築地スエヒロで  
した。平成13年度の初参加  
以来、年々総会・懇親会は  
盛り上がり多彩なイベント  
や同期生・諸先輩・後輩達  
との年1回の再会が楽しみ  
になり、以来一度の欠席も  
なく現在に至っています。



## 先輩後輩の垣根を 越えた協力体制

私が常日頃気になり感じ  
ていたのは、総会出席者に  
は毎回出席が多い年次と少  
ない年次があることでした。  
私の年次(S39年卒)は  
毎回出席者が少なく、いつ  
も三、四人といった具合で、  
それは寂しい限りでした。  
こんな状態で当番幹事を迎  
えたら大変な事になると秘  
かに危惧したものです。

私の心配をよそに当番幹  
事の中に10年後輩の高山  
房之君(S49年卒)がいま  
した。彼は人一倍同窓会活  
動に熱心で責任感も強く、  
幹事打ち合わせに積極的に  
意見具申もあり、資料作成  
に大変に苦勞をしてくれま  
した。私は縁の下の力には  
なれる自信はありましたが  
全体を掌握していく能力は  
持ち合わせておらず、その  
点彼はリーダーシップもあ  
り幹事全体を上手くまとめ  
てくれました。また、高山  
君同期の女性陣も毎回必ず  
会合に参加し、協力体制が  
出来上がりました。

懇親会のメインイベント  
は何といっても野球部OB  
による座談会でした。ガス  
トに往年の名選手達、藤波  
行雄さん、新浦壽夫さん、  
池谷公二郎さん、秋田秀幸  
さん等、良くまあこれだ  
けのスターを一同に集めら  
れたものだと同窓会の力を  
改めて知りました。

## メインイベントは 往年の名選手

懇親会のメインイベント  
は何といっても野球部OB  
による座談会でした。ガス  
トに往年の名選手達、藤波  
行雄さん、新浦壽夫さん、  
池谷公二郎さん、秋田秀幸  
さん等、良くまあこれだ  
けのスターを一同に集めら  
れたものだと同窓会の力を  
改めて知りました。

毎年総会が近づく度、今  
年こそは同期生の総会出席  
者を増やそうとの意気込み  
と強い決意で同期生に呼び  
かけするもの、一向に出  
席者数は増えませんでした。  
このような状況下でい  
よいよ当番幹事の年度を迎  
えることになり、さあしく困  
ったことになった。果たし  
て当番幹事として懇親会を  
取り仕切ることが出来るの  
か、幹事の役割重責を全う  
出来るのか、不安いっぱい  
のまま1月に入り、当番幹  
事の打ち合わせが始まりま  
した。

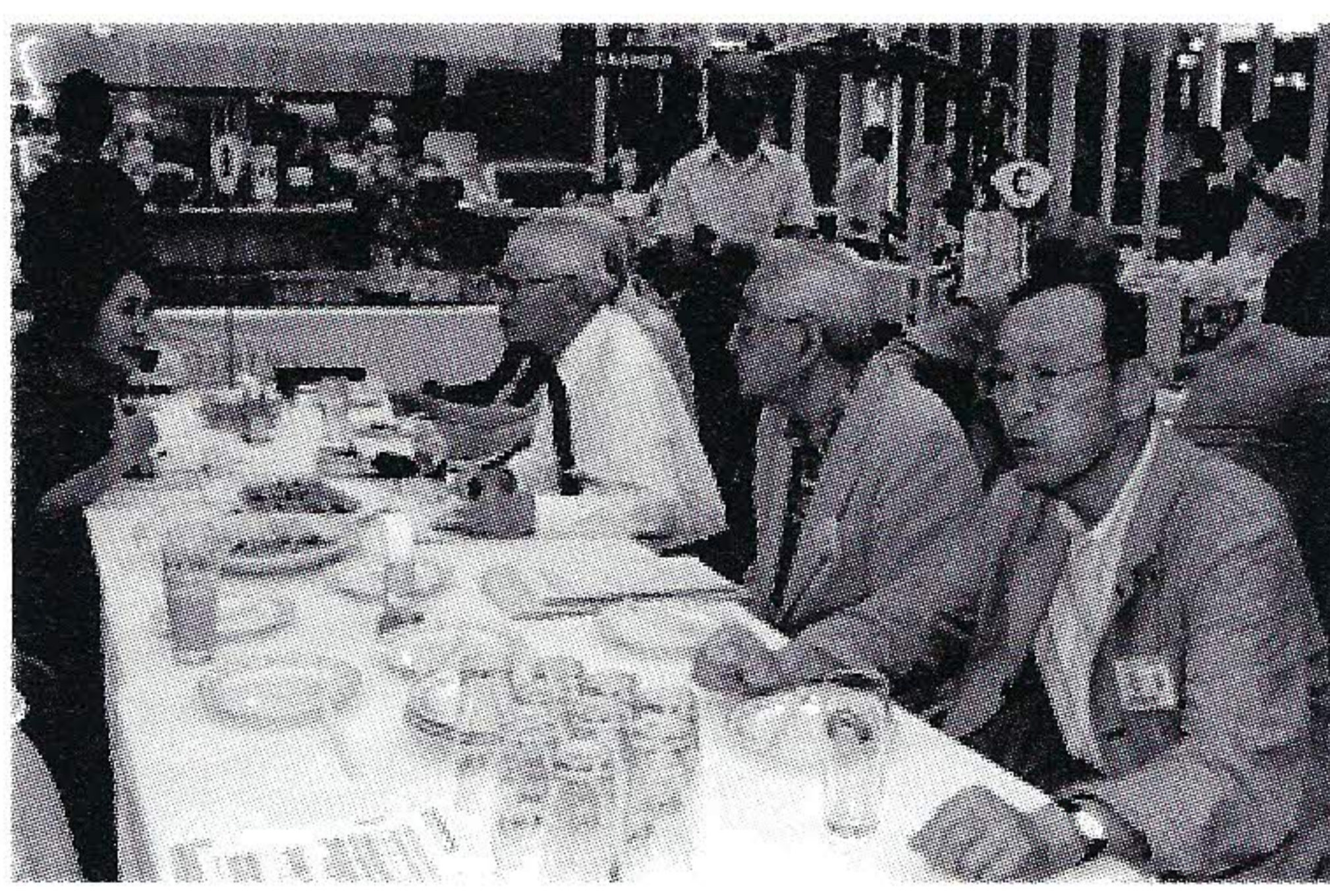
懇親会のメインテーマを  
どうするかが問題でした。  
多くの意見が出る中、母校  
甲子園出場もあって野球の  
話題を中心に据えた企画で  
スタートしました。そのた



昨年の甲子園出場  
旋風を起こした  
応援扇子



思い出の名場面写真をバックに名選手勢ぞろい





### 恩師・稲葉茂男先生 のスピーチ

今回の恩師スピーチには静岡から稲葉茂男先生をお迎えしました。先生は九十歳を超えるご高齢でありな



がらスピーチのお声も良くとおおり、青年の如く張りもあり元気そのものでした。

先生からは会員の誰もが元気を貰ったことでしょう。

### 運営の最大の武器は 同期生の協力

話が前後して恐縮ですが、懇親会を成功させるためには何としても同期生を一人でも多く参加してもらい、懇親会運営を円滑に運ばなければなりません。年次会名簿にもとづき青柳秀雄君、杉山俊夫君、松林勝君、私の4人で手分けし45名全員への電話勧誘を複数回行いました。結果は芳しくなく杉山俊夫君は静岡同窓会本部にも働きかけ杉山千之君、近藤正身君の2名を、青柳秀雄君は仙台にまで電話してくれて杉山賢二

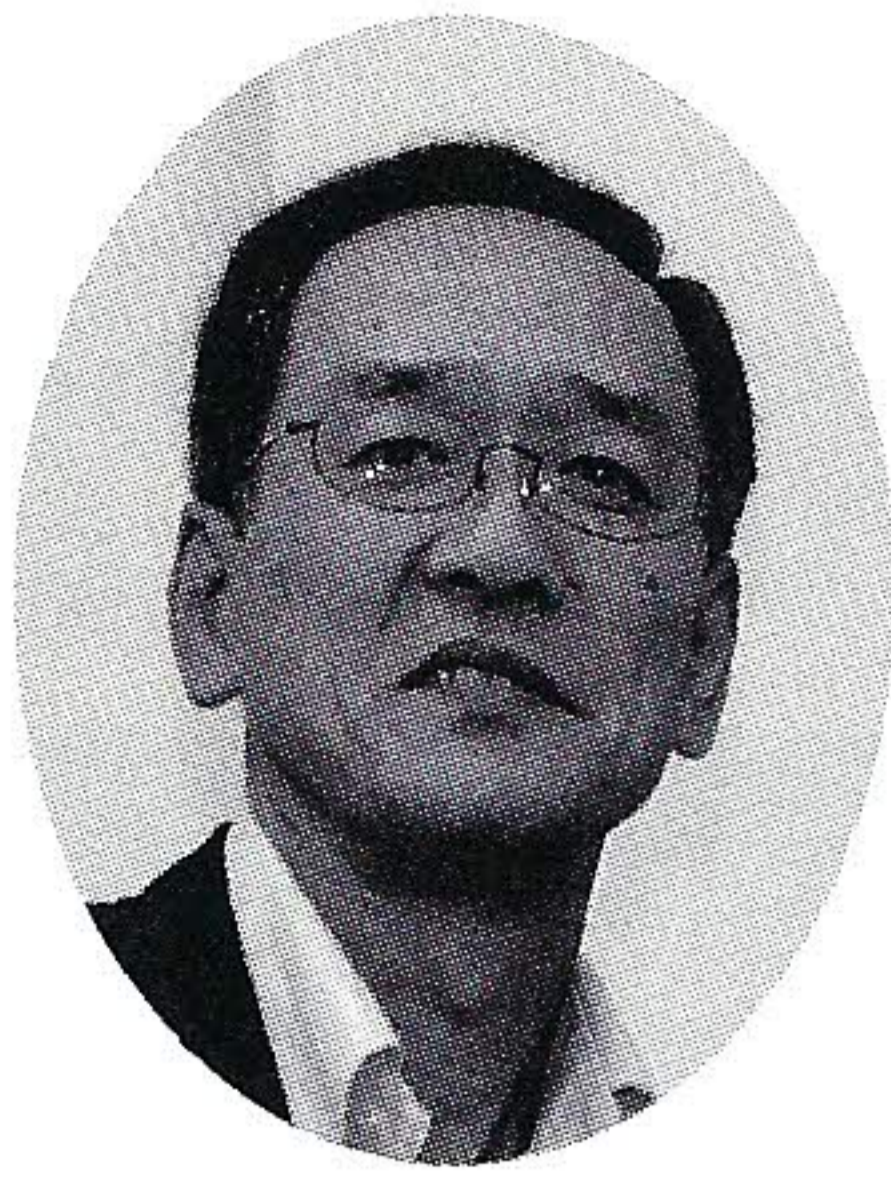
君が出席してくれました。仙台・静岡と遠方から駆け付けてくれた3名には深く感謝します。当日には同期生は8名の出席でした。今回の懇親会司会は、私と昭和49年卒の佐合陽子さんが担当しました。大舞台で喋るのは苦手で怯む私に増田先輩(37年卒)から「これは仕事じゃないよ、仲間内の親睦会なんだから気楽にやれよ」と言われ肩の力も抜けてほっとしたことを思い出します。増田先輩にはいつも打ち合わせに参加頂き適切で貴重なアドバイスをいただきました。司会パートナーの佐合さんは大変に気配りと機転が利く方で、随分と助けられました。

### 皆様に感謝しています

最後になりましたが、総会運営で尽力して下さいました増田先輩(企画部長)を始め、野球部OBの座談会での司会をして下さいました昭和31年卒の渡辺忠章さん・48年卒の相川雅美さんと蔭で支えてくれた青島さん、今回の総会の掲示した写真関係では、静岡在住の秋山氏と昭和40年卒の皆様から貴重な個人所有の写真をお借りし、会場で皆さんが見て興奮を再認識する事ができました。又、ビデオ放映に關しては、焼津市教育委員会の協力を得て硬式野球部の見城監督の公演ビデオを放映出来たことは、華やかな総会に彩りを加えられた事を心よ

り感謝しております。さらに、当日は体調不良にも拘らずお茶・わさび漬の販売に協力して下さいました48年卒の渡部さん等々、当番幹事以外の様々な方々の協力があってこそこの総会開催でした。紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。そして、力不足の当番幹事でありましたが何とか無事幹事の一翼を担うことができましたことを深く感謝しています。

### 小林幸義 幹事長



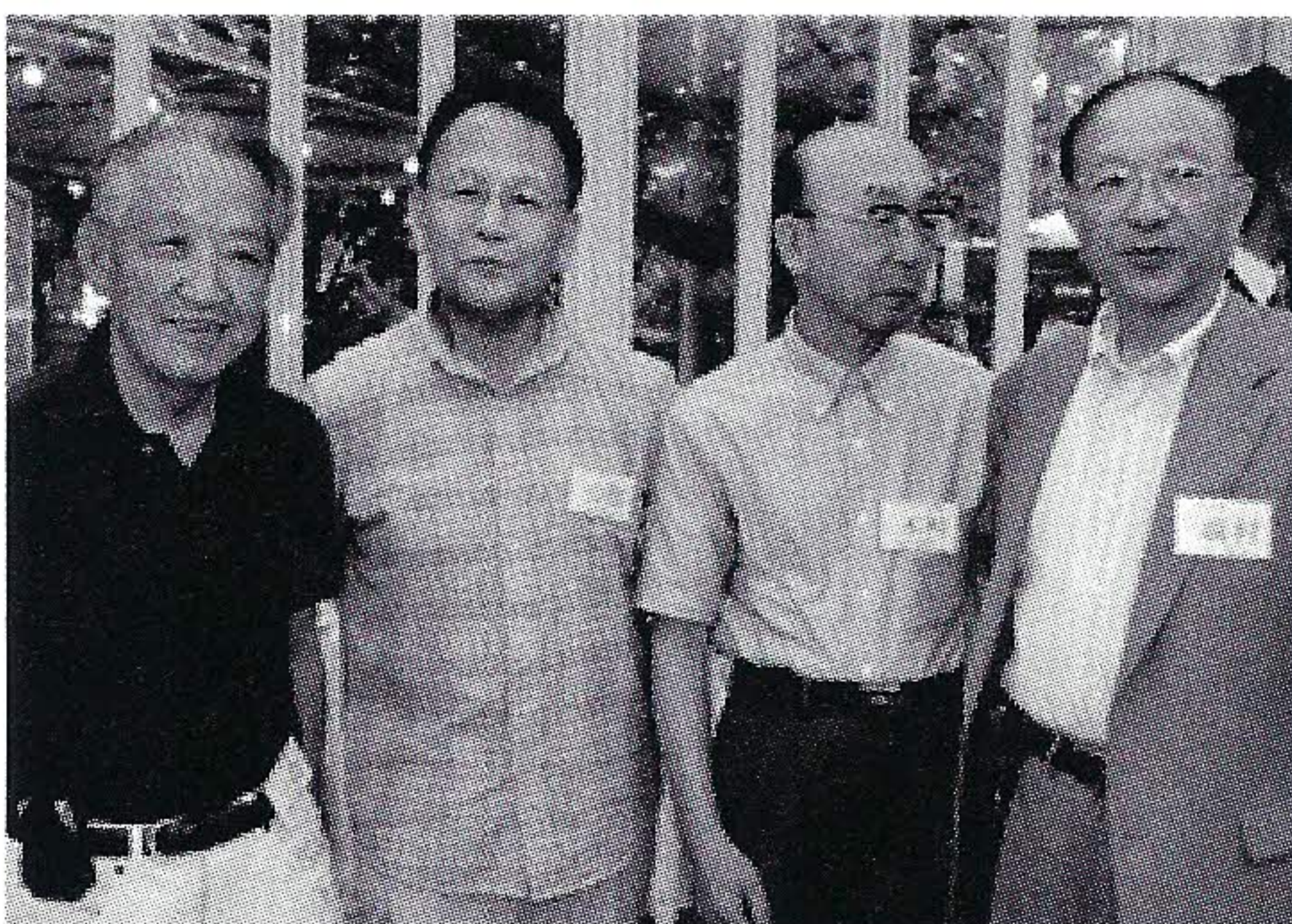
昨年5月鈴木前幹事長が突然ご逝去され、後任として7月より幹事長を仰せつかりました。

関東支部同窓会は「素晴らしい人達との出会いの場」と言っても良いくらい先輩、同期、後輩に魅力ある人達が集まっています。20歳前後から70歳以上の人達が一堂に会しますが、年長の人達が先輩風を吹かせることなく、和気あいあいと集う様はまさに大切にしたい、一期一会の場です。同窓会を契機に同期会の輪が広がっています。幹事長として、この輪を大きくしたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

### 鈴木一晴 会計監査



昨年の総会にて、「会計監査」に就任致しました昭和38年卒の鈴木一晴です。海野会長よりの熱心なご推薦に対し、当初は仕事がまだ現役でもあり、時間的にもそのような大任は無理として固辞していましたが、甲子園での興奮を機に母校への想いも募り、これも何かのご縁かと考え応諾した次第です。定年を過ぎ、頭の回転も鈍くなった中で、大任を全うできるか不安ですが、会計監査の立場から関東支部の発展に微力ながらお役に立てればと思っております。どうぞご支援のほどよろしくお願い申し上げます。







# 第50回野球定期戦記念大会

## 静岡が4対0で勝利

### 静岡の強力打線を 2年生鈴木投手が6安打完封



### 記念大会のOB戦に元プロ野球選手が初参加



第五十回野球定期戦記念大会が4月29日（昭和の日）に晴天の静岡草薙球場で開催された。

1930年（昭和5年）の天覧試合を記念してスタートした静岡・静岡高野球定期戦は、戦争による中断から復活した1956年（昭和31年）の第1回大会から数えて本年は五十回目の節目を迎えた。

同窓会、野球部後援会、野球部OB会等の努力で第五十回記念大会のチラシを作成、新聞折込も行い観客動員を図った。その効果もあり、スタンドには例年の倍以上の大観衆が詰めかけ熱気が感じられた。

主管校として齋藤照安静岡校長と生徒会長、望月愛美（えみ）さんが開会の挨拶を行った。女子生徒会長望月さんの挨拶は、野球

先発投手は同窓会関東支部でも馴染みの元ジャイアンツの新浦壽夫さん。現役時代と同じ様なスケールの大きいピッチングで1回を無失点に抑さえた。三番手に登板したのは昨年の関東支部総会にお越しただいた池谷公二郎さん。広島カープ当時のようなダイナミックなフォーム。1回を3者凡退に抑さえた。試合は時間切れ5回終了で10対8のスコアで静岡OBが勝ったが、静岡の満塁ホームランや静岡のランニング

**OB戦は**  
元・国鉄  
**田所氏が始球式**  
元・巨人  
**新浦氏が先発**  
元・広島  
**三番手に池谷氏**  
の豪華リレー

今年には記念大会でもありOB戦に元プロ野球選手が初めて参加し華やかな幕開けとなった。52年のセンバツ優勝投手で元プロ野球国鉄スワローズで活躍した田所善治郎さんの始球式でプレイボール。

部員の努力をたたえた素晴らしい内容で、気品と清々しさを感じさせた。静岡高校の男子の生徒会長の挨拶に勝るとも劣らない立派なもの、先輩として嬉しい思いがした。



大木氏、松浦氏、望月氏、田所氏

ホームランもあり楽しい試合であった。試合後、両チームは和気あいあいに健闘をたたえ合った。



三番手・池谷さん



先発・新浦さん



整列するOB選手

### さて、いよいよ本戦

さて、今度は真剣勝負の定期戦。昨年の7年ぶりの勝利が大野、森月両投手の完封リレーで3対0。今年も2年生の鈴木貴博投手の完投・完封で4対0の完勝であるが、スポーツ紙によると2年連続の完封勝利は定期戦史上初めてのことである。今年の勝利で対戦成績は19勝31敗となった。

鈴木投手は身長187センチの期待の大型左腕であるが過去に完投の実績はない。見城監督の談話によると、先発予定のエースの体調不良で急遽登板させた経緯があるとのことであった。入部以来大器と言われたが、4月に行なわれた神奈川遠征の横浜高校戦のリリーフ登

板で自信を得たという。この試合を観る限り、春のセンバツ大会で優勝候補と言われた強豪横浜高校相手に好投したと言うのが肯ける。

好投の鈴木投手を盛り立てたのが2年生の藤巻二塁手。13のゴロを危なげなく処理した堅実な守備のほかに、打つても2安打。8回には駄目押しのスライズを決めるなどの大活躍であった。

攻撃面では5回にレフトオーバールのホームランを打ち、7回に好走塁で追加点を奪った3番打者富井中堅手と、タイムリーヒットを含め全打席出塁の4番打者増田捕手のクリーンナップが上級生の貫緑を示した。五十回を記念して新調された定期戦優勝旗が、金子主将に手渡された。

今年には学校創立百十周年と野球部創部八十年目となるほか5月には待望の室内練習場も完成した。今回の定期戦は記念の慶事を飾るにふさわしい会心の勝利となった。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡	0	1	0	0	1	0	1	1	X	4

### 第50回定期戦結果



今年の戦力は...

春季大会は中部地区1回戦で島田工業と対戦したが0対5で完敗。投打とも低調で思わぬ敗退となった。この為、夏の選手権大会はノーシードでの出場を余儀なくされた。

対戦した静岡高校は春季県大会でベスト8に進出し、夏のシード権を獲得した実力校である。この勝利は今後の展望に大きな自信になったものと思われる。弱点とされた投手陣が整備されて来たほか、攻撃面でも機動力野球が出来てきている。守備にも安定感があつた。

先般、見城監督と直接面談する機会を得たが、23名の新入部員には有力な選手が多いとのことである。このうち、投手経験者は7名とのこと。即戦力を私たちが期待しがちであるが、監督は先を見越した育成をする方針のようだ。有力選手の入部に対し上級生に競争心が芽生えるのは当然の結果であり、定期戦の二桁安打や着実な犠打、好走塁の中にその効果を見たような気がする。



関東支部と野球部OBの応援風景

熱心な応援が 静商パワーに...

今年も関東支部から大勢の皆さんが応援に駆けつきました。常連の31年卒の渡邊忠章さん、36年卒の鷲野喜八郎さん、41年卒の福島正五さん、松本豊さん、48年卒の相川雅美さん、青島正一さん、渡部広志さん、豊岡弘子さん、38年卒の鈴木一晴さんも48年組みに合流しての応援。

甲子園出場選手の談話として野球部後援会報が伝えられたように、スタンドの熱心な声援が選手達の大きな支えになっている。応援でも静高を圧倒したと思う。

関東遠征で木更津総合高校、拓大紅陵高校、平塚学園高校、前橋育英高校、早稲田実業という強豪校と対戦するがここで実力が試される。

関東遠征の対戦で自信を持ち、それを契機としてチーム力が向上し、夏の選手権大会の活力になって行った事例は多い。拓大紅陵戦、早稲田実業戦などである。(遠征後半の試合日程と会場案内は下記に掲載した。)昨年までの4年間に3回の決勝戦進出を果たした実績は、これを引き継いだ選手達の大きな自信になっている筈である。私は数多くの試合を観戦しているが、見城監督のご指導のもとに着実に戦力は向上していると思う。

今回の定期戦勝利を糧に夏に向かつて頑張つてほしい。そして、甲子園への夢を再度実現してほしい。(応援部会 長谷川 勉)

静商硬式野球部 室内練習場が完成

静商硬式野球部室内練習場新築工事安全祈願祭が、平成19年12月24日(月・祝)に行われ、竣工式が平成20年5月10日(土)開催された。

赤石硬式野球部後援会長は、静商同窓会会員また硬式野球部後援会会員に対する感謝のことばとともに、関係各位の「静商パワー」に後押しをされここまでやる事ができたと「静商パワーのすばらしさ」も熱く語られた。

静商硬式野球部関東遠征 後半日程

5月31日(土) 9:00 14:00 変則ダブルヘッター 平塚学園高校・前橋育英高校

神奈川県中郡大磯町国府本郷699 平塚学園湘南球場 (学校所在地とは別の場所)

JR東海道線 大磯駅下車 二宮行きバス 城山公園バス停より徒歩8分

6月1日(日) 10:00 ダブルヘッター 早稲田実業学校高等部

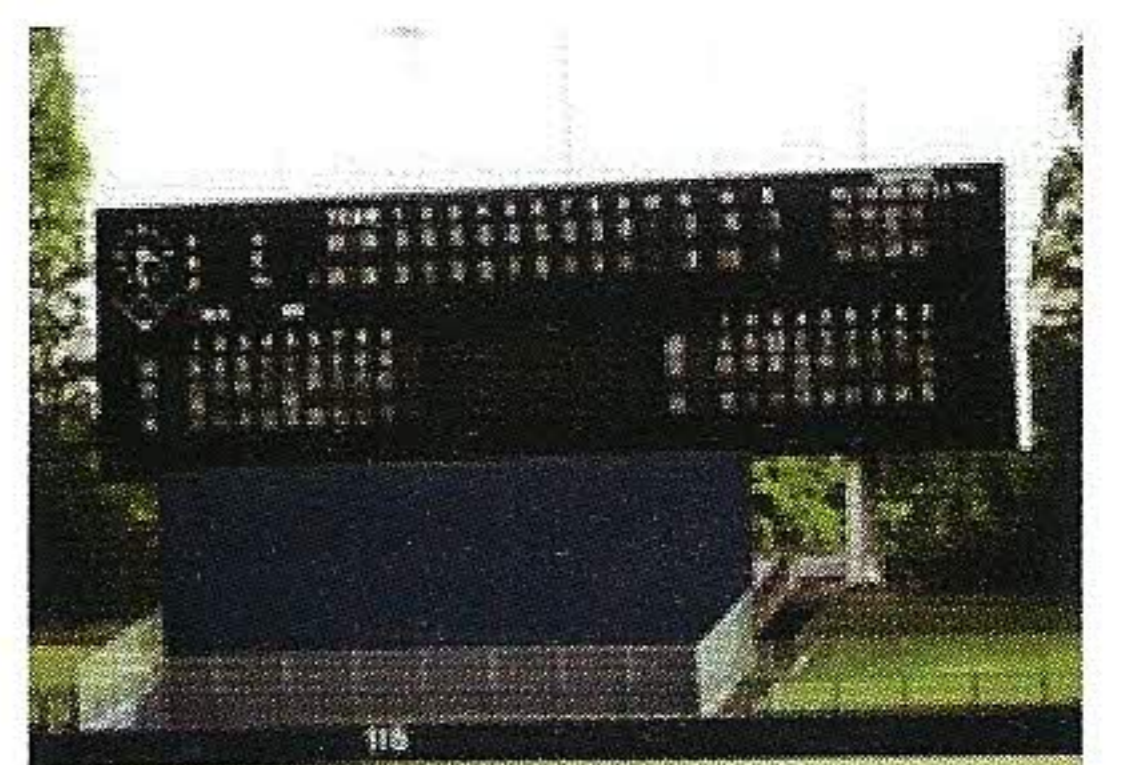
八王子市南大沢4-3-7 王貞治記念グラウンド (学校所在地とは別の場所)

京王相模原線 南大沢駅下車徒歩15分 遊歩道を小山内裏公園方面に進む

日程、会場等の問い合わせは

応援部会 長谷川まで (船橋市みやぎ台4-8-15)

電話 自宅 047-447-1822 (携帯 090-7261-4816)



コンピュータ・ソフトウェア開発



株式会社 エイプルジャパン

http://www.apl.co.jp

代表取締役会長 阿井 勝利 (S32年卒)

代表取締役社長 阿井 秀虎

〒105-0014

東京都港区芝2-31-19(B・Zビル)

TEL 03(5443)1235 FAX 03(5443)1236

事業所:東京事業所・福岡事業所・新潟事業所・大阪事業所

関連会社:鶴翔(杭州)軟件有限公司

事業概要:各種受託ソフト開発

パッケージソフト(大学事務システム等)の開発、販売 ネットワーク設計・システムインフラ構築 基幹システムのコンサルテーション、設計、開発、保守 ITソリューション(インターネット、EC等)のコンサルテーション、設計、開発、保守、運用ERP・CRMのコンサルテーション、カスタマイズ、サポートフロントオフィス・バックオフィスのコンサルテーション、設計、開発、保守



資格試験に挑戦

# チャレンジ

同窓会活動の源

最高齢合格

Defined Contribution Planer

1級DCプランナー

原初典 (S40年卒)



から約12%しか合格できないほどの超難関な資格でした。主催者に確認したところ、受験者は金融機関の現役が圧倒的で「あなたは恐らく最高齢の合格者でしょう」といわれました。

人生八十年の時代です。私の年齢六十歳は、まだまだ若い。決して老け込むものではない。いろいろなものに、積極的にチャレンジしていききたいと思います。

何事にも取り組むことが、脳の活性化に役立ち、その挑戦と結果が、自信となり、さらなる行動力につながり、ひいては、それが今の「同窓会活動の源」になったと確信しています。

私は信託銀行に勤務、その半分は企業年金業務に従事しました。その後、五十四歳六ヶ月で同窓会社に転職し、約5年間「保険の代理業務」に従事しました。

同窓会社に転職したとき、5年以上も勤務するならば、キチンとした知識を身につけ「他の職員の範になる姿勢を」との思いから、損害保険代理店の最高資格「特級資格」を一年掛けて、これが最後の資格試験と、老体にムチを打って勉強し、その甲斐あって、一回で無事合格しました。

大過なく、無事に定年まで勤務もあと1年半というときに、出身銀行から平成十三年十月よりはじめた「年金制度」確定拠出年金業務に戻ろう声がかかりました。仕事は、この「年金制度の投資教育」のセミナー講師です。六十五歳まで

で常勤で働けるという好条件で、快く引き受けました。勤務に当たっては、特に資格は必要としませんでしたが、「昔取った杵柄」だけで仕事をしたくないと思

い、前回は「最後の資格挑戦」だったはずなのに、再び日本商工会議所検定の「DCプランナー」に挑戦することにしました。半年後の「2級DCプランナー」には、これまでの知識と経験で、難なく合格できました。引き続き難関の「1級DCプランナー」に挑戦しました。人生で最高の受験勉強をし、自信を持って受験したのですが、残念ながら数点足らず、不合格でした。好きなゴルフやアルコールを半年間絶って、必死に研鑽をした結果、半年後には見事合格しました。

現在合格者は、全国に2020人、2級合格者の中

## 継続は力なり

平井幸雄(S36年卒)の「ヒライ信」百号を祝う会

平成十九年十二月二日(日)に、(財)三菱養和会集鴨スポーツセンター内のレストラン「パルテール」で、「ヒライ信」百号をお祝いする会が開かれた。

これは、平井幸雄君(S36年卒)が仲間が発信してきた「ヒライ信」の百号達成を記念して、同期有志が発起人となり、静岡同窓会に呼びかけた。約70名の方々に呼びかけて、33名の「ヒライ信」ファンが集まった。

「ヒライ信」は、この会報でも2回ばかり紹介されたが、ユーモアと笑いにあふれた「一人新聞」である。平成十年九月、10通で創刊したものが、約十年間、毎月発信を継続して、今は500通までに発信するミニコミ誌。よくもネタ切れせずに続いたものだ。まさに「継続は力なり」いや、彼に言わせれば「継続は知かなり」だそうだ。

【松下孝(S36年卒)記】



静岡新聞社・静岡放送  
スポーツ賞

## 【体育功労者賞】受賞祝賀会

下村勝彦さん(S36年卒・県相撲連盟理事長)

### 夢大きく「五輪に相撲」

静岡(S36年卒)から明治大に進んだ下村勝彦氏は、大学相撲選手権の団体優勝を2回経験し、東京オリンピックではデモンストレーションとして模範演技者となった。また選手、監督、役員として32回の国体出場を誇り、女子相撲のチャンピオン輩出など、静岡県の相撲をけん引してきた。多年にわたるアマチュア相撲に尽力された情熱と功績が評価され、第56回静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞「体育功労賞」を受賞された。

その受賞祝賀会が、平成20年4月19日(土)焼津のホテルアンビシア松風閣で、二百余名の列席者のもと開かれた。

静岡の恩師・同窓生に囲まれて



「子供のころからドットンバツタンやってたから、相撲抜きの人生は考えられないね。今は相撲と地域への恩返しの時だと思ってる。いま「柔剛適意(じゅうごうごういのみまに)」を信条に、現在の夢は、相撲を五輪種目にする事」。日本オリ

ンピック委員会の強化スタッフも務め、日本国内での選手育成とともに海外での普及活動にも精を出す。



壇上には恩師牧田先生が描いてくれた掛け軸、そして、横綱白鵬、朝青龍の手形色紙が飾られていた



# 元・幹事長

こうすけ

## 鈴木皓介さん(享年 64 歳)を偲ぶ

海野 治 (S 36 年卒)

皓ちゃん、貴君と別れて早や1年になってしまいました。去年の5月13日の夕方倒れてから回復を信じた10日間だったが5月23日貴君は逝ってしまった。あまりに若い別れに茫然自失の体でした。

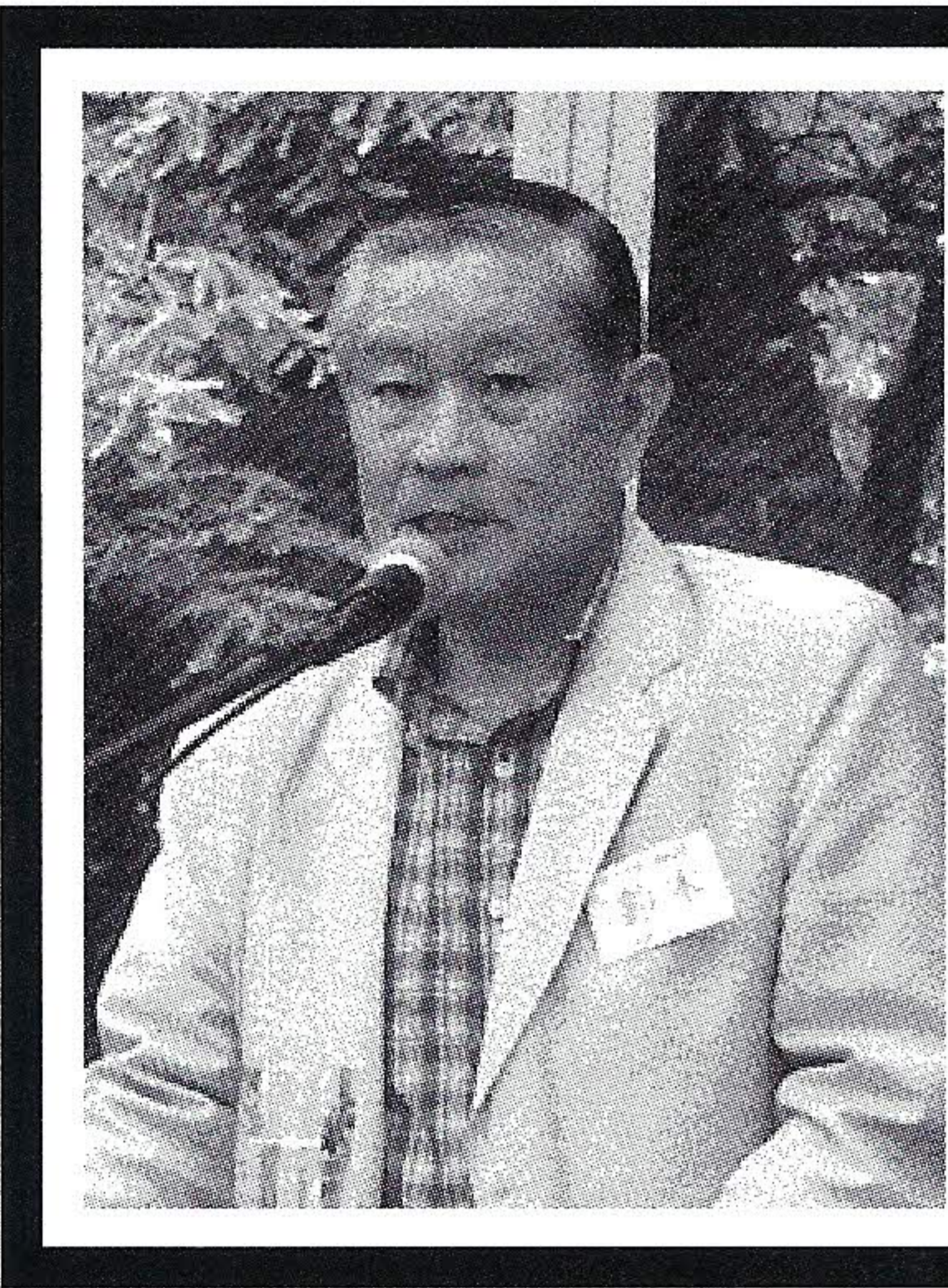
静商在学中から何か存在感のあった貴君と卒業後の再会は、静商同窓会関東支部が平成3年に結成された時でした。当時の年度幹事として貴君と驚野君、小生と三人の名を連ねたことを思い出しました。以来我等同期の誇る貴君は、人柄、能力両面から、関東支部の幹事長の重責を8年の長期にわたって担って頂いていたのに……

また、同期会においてもまとめ役的にさりげなく、機を見るに敏の貴君に皆、何事も頼りにしてきたものです。皓ちゃん・皓介さん・

皓介・鈴木君・鈴木皓介等と同期仲間それぞれ親しみを込めて勝手な呼び名で語りかけていたものでした。

一方、元勤務先の三菱商事の交友関係も幅広く、趣味や遊びの話題も豊富で、酒席で楽しませて貰いました。小生は、親しくお付き合いできたことを心底幸せに思います。本当にいろいろと有難うございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌



在りし日の  
鈴木皓介さん  
平成18年の総会での  
名幹事長ぶり

## 藤浪稔央さんを偲ぶ

(享年75歳)

ご苦労様でした  
昭和27年卒の幹事、同窓会報の印刷・発行、懇親会ではハワイアン演奏を何度かご披露してくれた



池田 博之 (S 27 年卒)

われら同期会「水曜会」の曾根満夫君が、昨年十月に、そして、藤浪稔央(としお)君が、相次いで黄泉の国へ先行してしまい、大変残念です。

藤浪君とは、音楽部仲間でしたので、数々の演奏、大井川線沿いの村立家山小学校裁縫室での、戦後初の合宿練習など……が思い出されます。高校3年生の時も、同じHRでした。

以下、卒業文集の中から藤浪君の書いた文を、そのまま拝借し、君を偲ぶ。

「先生をはじめ、我々の組47名と別れとなつてしまふことは、非常に悲しい。だが、これも仕方のないことだ。組長のせつきよく的な委員によつた事を忘れる

ことができない。思い出の数々が、シャモの笑いの中に起こってくる。あ、なんと無常の世界であろう！」(原文のまま)文中の「シャモ」は主任と英語担当の山岸文雄先生、「組長」は水曜会の安田春雄君でした。

藤浪君は、人気投票ベストテンに入っていました。その訳はタラシ王(?)の好男子。あだ名は「ズキシ」、趣味は「ジャズ」でした。ご冥福を祈りつつ……

「卒文は  
ガリ版刷りの  
藁半紙」



1951年11月23日上野公園内芸大奏楽堂での演奏風景  
(前列一番右でトランペットを吹くのが藤浪君)

当時1950年(昭和25年)と1951年(昭和26年)  
朝日新聞社・関東吹奏楽連盟主催の  
関東吹奏楽大会・高校の部で、2年連続2位の栄冠を受賞した。



石貝 晃司 (S 30 年卒)

五十六会(S 30年、56回卒)関東支部には母校静商の元校長 原川芳朗君、当会支部長 海野 昭君、元プロ野球選手 興津達雄君など多士済々です。



瑞宝小綬賞をの叙勲された  
原川芳朗さん

メンバーはマドンナ1名、静岡在住者8名を含め総員34名です。

万年幹事の古井陸志君の呼びかけで昨年9月28日(金)に神田駅前の居酒屋で例会が開催されました。今回は原川君の叙勲のお祝いを兼ねて行われました。

当日の参加者は、かつての白龍健児17名です。

宴は大森泰次君の祝辞、佐藤富士夫君の乾杯の発声により始まり出席者全員から近況が語られました。特に、原川君からは謝辞と皇居における叙勲受賞の様子が話され、その感動を分かち合いました。ご多分にもれず、前期高齢者に相応しく健康、病気に関する近況が多く報告されました。また、静商在学時の往時を語るなど旧交を温めました。

今回は1年半ぶりの例会のためか3時から始まった3時間が短く感じられました。最後にみんなで起立して「波メロディー」を奏ずり散会しました。



# 特集 同期会 SEISHO スペシャル

同じ静商に学び、同じ時代を生きてきた同期の桜にも、いろいろな人生があり、異なった生き方があった。人は自分と同じものに安心を見つけ、人とは違う自分を発見する。そんな中に自分の存在感を再認識する。気の置けない仲間との語らいは、そんな時間と場を与えてくれる。いろいろな同期会をご紹介します。

原川君の叙勲の祝う会を兼ね、神田の駅前集う



いそろくかい  
**五十六会**



亀澤 錬一  
S30年卒

えすしーさぶろくかい  
**SC36会**



池ヶ谷 捷之  
S36年卒

## 話題は静岡弁で 静岡空襲の思い出

古希を迎えてから、小学・中学・高校の同級会の回数が一気に増えてきた。「あの時、おめえはどこへ逃げただ？そのあとどうした？すげえっけな！」と言うことが毎回話題になる。それは、昭和二十年六月十九日夜からの**静岡大空襲**と、その後の極限状態ともいえる飢餓状態をどう乗り越えたかが話題となつて盛り上がる。

その時の自分は、今でも記憶に残っているのは空襲警報のサイレンが鳴っているのに、母は避難する様子もなく（父は兵役でボルネオ諸島を転戦中）、そのうち家の庭がパツと明るくなったので、外を見ると焼夷弾で燃え上がっていた。慌てて防空頭巾だけを持って、家を飛び出し、近くの新通小学校の防空壕へ駆け込むと満員で入れない。次は安倍川に向かつて逃げる。手前の三角公園で防空壕を見つれるも、ここも満員で入れない。仕方なく**安倍川橋**を渡るが、焼夷弾に追いかけるられながら、運よく橋を渡りきると人波に出会う。

## 奇数月に 定期的、同じ場所で

昭和三十六年の春に上京し、優れた多くの先輩達と出会う度に浅学菲才を思い知らされ、四度の転職をしながらも無事に定年まで企業人として勤め上げることができた。その後、労働局で3年間アルバイトをしたが、昨年3月末に完全にサラリーマン生活から引退した。そして、フーテン生活を送りはじめたとき、5月に鈴木皓介君の訃報が飛び込んだ。その通夜の席で世話役のひとり小長井君から誘われて、「SC36会」レギュラーメンバーに加わった。

レギュラーとして初参加した集まりが「鈴木君を偲ぶ会」であり、「増井君の春の叙勲受賞お祝いの会」だった。この日、当会の名世話役として活躍していた鈴木君を皆が明るく偲んでいたし、また、増井君の叙勲を我が事のようにみんなが喜んでお祝いしていた。このメンバーの姿を見て、この会の仲間になることに本気になった。それにしても増井君の消防士としての功労に対しての叙勲は、もの凄いことであり、我らの誇りである。

当会は、東京近郊に在住する昭和三十六年卒の同級生有志の集まりのだが、イベントで集まるだけでなく、誰かのなじみの店だったと思われる神田「てん亭」で奇数月の第二木曜日に例会を開いている。（今年の5月から第2水曜日に変わった）

ただ1月例会は、「新年会」として世田谷区上祖師谷の閑静な住宅地にいまや老舗となった店「橋鮎」で開くことが恒例になっていく。この店は、同期の鈴木君の店だ。美味しい酒と肴で、勝手に歓談は進む。お決まりの健康や病気の話だけでではない、母校の話、昔懐かしい映画の話、孫の話が飛び出してくる。締めくくりは小長井君のメールの三唱だった。

現役時代には、正直、高校生活であまり言葉を交わしたこともない連中と素直に交流する気になれなかった。しかし、自分の意識が変わったこともあるが、姿はないが「静商」が絆をつくっているのか、メンバーが高齢者になってカドが取れたからか、会に出るとあたかも学生時代に戻ったような気持ちになり、次の例会が楽しみになるようになってきた。この会のいいところは一言で言えば「全員がフラットに付き合える」とことだと思ふ。こんないい奴らならもつと高校時代に付き合っておけばよかったと思うくらいだ。

しかし、今からでも遅くない。サミエル・ウルマンの詩『青春』にある「青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。」の通り「人生への**歓喜と興味**」を失わずに、末永く、豊富な人生経験を積んできたSC36会の仲間と付き合せて、瞬間であっても、再び青春を謳歌したいと思う。そして、5年後に迎える「古希」では盛大に祝い合いたいと思う。



いつもは奇数月に神田「てん亭」に集まるが、この日は、偶数月で、奇しくも「鈴木君の偲ぶ会」と「増井君の叙勲を祝う会」となった



さんぱちかい  
**380会**



S38年卒  
杉本 博之

**静岡よんいち会**



S41年卒  
小林 吉照

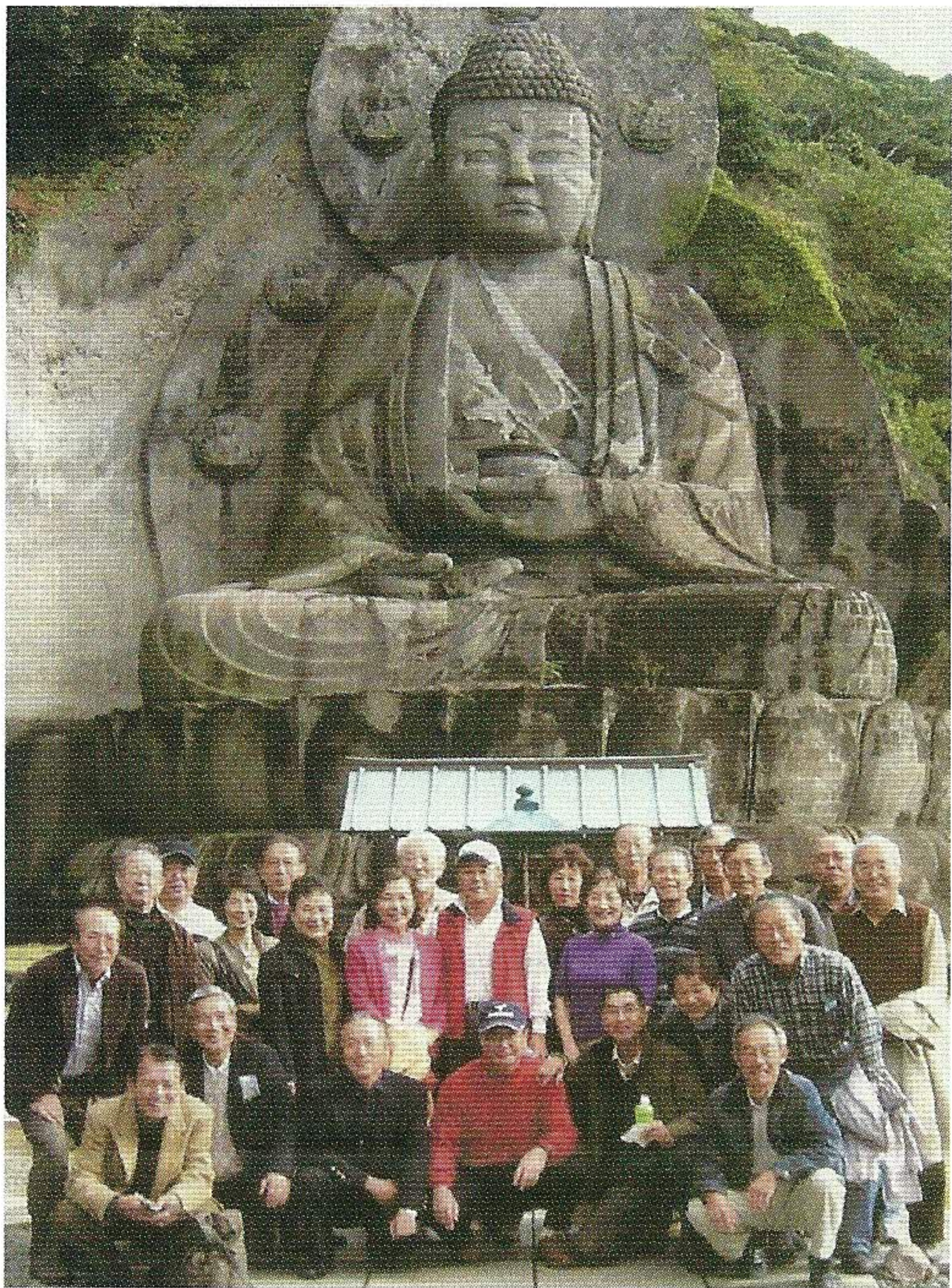
年に一度の

一泊温泉旅行で

熱く青春談義

静岡他から16名の計31名が集い、懐かしい青春の1ページが開宴された。

十二年前の同窓会幹事を終え、慰労会の席上、これから年に一回は皆で一泊温泉旅行をしようとの提案があった。早速、幹事の鈴木君を中心に、まずは当会報に毎回広告をいただいている同期生の植田麻巳さんが女将を務める『湯宿 嵯峨沢館』に行った。そして、今回が十一回目となる。5回目ぐらいから、静岡からも参加者が加わり、毎回30余名の盛況である。今年も、十一月十日・十一日の両日に掛けて、千葉県富津の鋸山金谷温泉郷「かじや旅館」に関東15名、



翌日は「日ごろの行いの善さ」が通じ、雨の止んだ絶壁の景勝地点までの急勾配の山道を、メタボリックの体で歩く。今年も集う「38会」であった。

第1回

関東「静岡よんいち会」

を結成し輪を広げる

昨年十月初旬の同期会の呼びかけに四十一年卒業以来四十二年ぶりに関東近県在住の同期生、二十名が参加しました。個人的には同期生と付き合いはあるものの一堂に会することはありませんでした。それぞれの集まりの輪を連結させたいということが今回「静岡よんいち会」発足のきっかけでした。

八月から有志の四名が中心となり準備をしたところ、なんと五十名もの同期生が、関東近県に居ることが判明しました。

当日(十一月八日)は、四時に始まり乾杯のあと簡単に近況報告をしました。定年を迎えた方・定年後も新天地でがんばっておられる方・現役のまま活躍中の方などさまざまでしたが、参加された方々は、表面的には一様に元気いっぱいでした。といつても実は、「血圧の薬を何年も飲み続けているんだ」とか「手術したんだ」などという病気の自慢話まで飛び出す始末でした。結論は、多少医者仲間が長生きするということでした。

関東在住の方にご案内したつもりでしたが、名簿のミスで、愛知県から、森田弘明さんも参加してくれました。女性の方には、ささやかなプレゼント(千支のネズミの置物)が贈られました。クラスは違っても静岡生ということでも懐かしい話に花が咲きました。



第1回静岡よんいち会 東京 花の舞 2007.12.8



静岡県立静岡商業高等学校 Prefectural Shizuoka Commercial High School

静岡商業高校公式ホームページ

<http://www.seisho.ed.jp/>

**祝**

開校

母校 110 周年

平成20年度

同窓会 関東支部 総会



静岡県立静岡商業高校同窓会

Prefectural Shizuoka Commercial High School Association

■ 本部役員

- 会長 平野健市 (第60回・S34年卒)
- 副会長 中村佳弘 (第58回・S32年卒)
- 桑原 嗣 (第60回・S34年卒)
- 杉山忠郎 (第61回・S35年卒)
- 下村勝彦 (第62回・S36年卒)
- 杉田至弘 (第63回・S37年卒)

<http://www.seisho-dosokai.com>



# かんとうよんまる 関東40会



S40年卒  
原 初典

# 静商一九会



S42年卒  
高塚 年明

# 事務科クラス会



S48年卒  
齋藤まり子

## 今年は静岡 来年は関東でと くりかえす同期会

昭和五十五年。卒業十五年を記念して開かれた同期会（開催地・静岡）での再会を契機に、関東にいる仲間と一度集まろうとのことになり、昭和五十六年に第一回目の関東同期会を開催しました。その後不定期に何回か開催しましたが、「**関東40会**」と名称をつけて開催するようになったのは十年前の関東支部定期総会の当番幹事がきっかけです。

全体での同期会が一年半に一回と決まっているため、関東40会はその端境期を目処に開催しております。毎回、52名全員に出席を呼びかけてきましたが、出席いただけのものは15人、20人で、最近では出席者も固定化しております。

今年度関東支部定期総会当番幹事ということもあり、再度掘り起し策として関東40会の存在のPR案内をしました。でも反応は鈍かったです。一方、静岡在住者で関東40会の集まりを耳にして飛び入り参加をされる方もおります。

毎回「安い予算で新たな感動」が得られるように企画しておりますので、本紙を読んで新たな参加者が現れることを期待しております。なお、**今秋は静岡**で同期会開催が予定されておりますので**関東40会**は**来年夏頃**を予定しております。



写真は十年前の「関東40会」旗揚げ時のもの、名称も決まっていなかったため、「関東六十六会」のカードで撮影したものです。女性会員から、若い時の写真が良いとのことであったため十年前の写真に掲載しました。

## なんと!

### 四十二年目の集い

私が小学生の頃、「今や悲しき六十才」という歌が流行りました。歌詞の内容は、憧れの女性を見つけたら、すでに自分は六十才、嗚呼悲しいものではないか。当時の感覚から言えば、六十才は腰の曲がった老人でした。いざ自分が六十才になってみると、全く違っています。

三月三十日、静岡中島屋ホテルにて、同期会「**一九会**」が開催されました。石川先生、牧野先生、阿内先生、名田先生、神鷹先生をお迎えし、盛会の内に、数時間が過ぎました。そこで気付いたことは、皆さん若いのです。確かに、私たちはビートルズ世代なので、加山雄三も、吉永小百合も現役バリバリです。負けてはいられません。

私も来年三月末をもちまして定年退職となります。そこで、今、雑感を書いておきます。当初「**不完全燃焼**」というタイトルだったので、昨日「**花道はまだだ**」と変更しました。なぜなら、完全燃焼を目指す場もなかったのです。そう、男の花道をまだ通って

いないのだ!男の花道はこれからと信じて夢を見たいと思います。ドンキ・ホーテであります。目指すは、好きなこと、好きなものを追いかけるサンデー毎日です。



## 女性だけの

### 事務科のクラス会

あこがれのグレーのワイシャツにエンジのネクタイ、紺の制服に身を包み、静岡が**小学校制**（事務科、情報処理科、営業科、経理科の各2クラス）を初めて導入した昭和四十五年四月に入学しました。

当時は、私が入った事務科は**女子だけのクラス**でした。こう見えて?奥手な私は共学なのに三年間女子校に通うがごとく過しました。卒業後しばらくは、事務



科合同クラス会は何度か開催されました。熱海や北海道に泊りがけで行ったこともありましたが、その後、開催されなくなりました。しかし、二年前の甲子園出場をきっかけに、十一月の三日曜日、焼津グランドホテルにて合同クラス会を行いました。**毎年同じ時に再会を約束**して昨年は二回目となります。

最初は「あれ、誰だっけ?」なんてこともあり、確実におぼさんになっていくのに「変わらないわねえ」なんて、お互いをいたわりあい、それでも、話している内に三十五年前にどんどん戻っていく。

同級生っていいなあ!高校生の頃に戻りつつ、長い年月を経て人生経験豊富な女達の会話はとどまるところを知りません。

一年に一回の会を心待ちにしてくれる同級生がいる限り、続けていきたいと思えます。事務科で過ごした三年間がなんと充実していたことかと感じるクラス会です。





春季大会・太平洋クラブ成田コース H20年 4 月 9 日

龍児 白健



球在 白健

SCゴルフ同好会



畑 幸男 (S34年卒)

春季大会に初参加して

私が13年間勤務した札幌から東京に転勤して、しばらくして、同窓会の案内を貰いました。ゴルフ同好会のこと聞いておりました。が、なかなか時間のやりにくかったです。失礼をしておりましたが、小長井さんからお誘いがあり、初参加し

ました。北海道にいたときは「ANA・ダイアモンドクラブ」のメンバーになり、クラブライフを楽しんでいました。このクラブでは一人でも、いつでもプレーできる「メンバータイム」というシステムがあり、週末はほとんどゴルフという恵まれた環境にありましたが、ハンディキャップは20までしかいきませんでした。

今回参加したコースは「太平洋クラブ成田コース」で、当日は、前日の雨が上がりましたが、曇天で風が強かったです。グリーンが大変難しいところにかッパが切つてあり、もともと苦手なパターでしたから、スリーパットの連続で、大たたきの111の散々なスコアでした。

でも、コースはゲーリープレーヤーの設計で、あらゆる技量の人にあわせ、すべての人が楽しめるようになっていた。今度はおつと練習をつんで、コースを楽しみたいと思います。クラブハウスも広々として、エレガントなジョージアンスタイルの落ち着いた雰囲気でした。

初参加でしたが、私より先輩が元気溼漑にプレーする姿を見て、驚きとともに感動しました。私も、もうひと踏ん張りしなければと反省した次第です。



夏季コンペ

チェックメイトカントリークラブ

H19年6月11日

長谷川 英樹 (S37年卒)

昨年の定例コンペに続き、二回目の参加である。家を出るころは小雨模様で、下手な腕前だから、スコアがさらに乱れるだろうと、あまり気が乗らない。ところが、ゴルフ場に着いたら、申し分のない素晴らしいゴルフ日和になった。丹沢山系の山々を背景に、前面は相模湾を望める、緩やかな丘陵に立地した、まさに360度を一望できる「空中庭園」である「チェックメイトカントリークラブ」で開催された。

紅一点の斉藤まり子さんを含む5組20名の参加者。一打の影響して、パートナの3人の足を引っ張ったと思う。その反面、私のナイスプレーには、惜しみない賛辞をくれる。悪いショットには「Don't mind」と常に前向きに行くよう励ましてくれる。先輩・後輩という歳の差、腕前の巧拙など関係無しに、楽しくラウンドさせてもらった。

定例コンペ 優勝の弁

伏見 重夫 (S34年卒)

定例コンペが平成19年9月24日(祝)に31名の同好の士が参集して知光敬矩(28年卒)同好会会長のホームクラブの「那須小川ゴルフクラブ」で行われました。優勝者は、伏見重夫さん(S34年卒)でした。詳しくは、ホームページをご覧ください。

http://www5e.biglobe.ne.jp/~WeLoveSC/



今回は、はからずも優勝できました。これは単に運に恵まれただけ。ローハンデイの方が不調であったことと、いつもはミスの連続が、この日はダブルボギーで崩れかかると、ショットホールでパーが取れる幸運がありました。ゴルフの神様が私に微笑んでくれたからです。

チェックメイトカントリークラブ 2007.6.11(月)

順位	氏名	OUT	IN	グロス	ハンデ	NET
優勝	後藤 忠昭	39	39	78	6.0	72.0
準優勝	田邊 勉	46	44	90	18.0	72.0
3	高山 房之	40	45	85	10.8	74.2
4	安池 和高	44	47	91	16.8	74.2
5	知光 敬矩	41	49	90	15.6	74.4
6	興津 高里	49	50	99	24.0	75.0
7	織部 忠義	50	47	97	21.6	75.4
8	常盤 秀樹	49	46	95	18.0	77.0
9	望月健三郎	53	54	107	30.0	77.0
10	長谷川英樹	55	52	107	30.0	77.0
11	伏見 重夫	48	44	92	14.4	77.6
12	五十嵐昭夫	47	45	92	14.4	77.6
13	永井 賢雄	49	48	97	19.2	77.8
14	杉山 光男	45	50	95	16.8	78.2
15	上山 富義	46	48	94	15.6	78.4
16	磯部 信雄	51	54	105	26.4	78.6
17	大村 隆明	58	52	110	28.8	81.2
18	小長井武夫	50	53	103	21.6	81.4
19	増田 数茂	54	62	116	31.2	84.8
20	斉藤まり子	63	63	126	39.6	86.4

太平洋クラブ 成田コース 2008.4.9(水)

順位	氏名	OUT	IN	グロス	ハンデ	NET
優勝	知光 敬矩	46	44	90	16.8	73.2
準優勝	中畑 稔	46	53	99	24.0	75.0
3	宮川 欣也	50	48	98	22.8	75.2
4	戸井 政宏	45	45	90	13.2	76.8
5	堤 正義	46	50	96	19.2	76.8
6	石上 達巳	47	56	103	25.2	77.8
7	磯部 信雄	49	53	102	24.0	78.0
8	長谷川英樹	55	57	112	33.6	78.4
9	鈴木 守	48	53	101	20.4	80.6
10	安池 和高	49	58	107	26.4	80.6
11	高山 康明	60	54	114	32.4	81.6
12	大村 隆明	54	59	113	31.2	81.8
13	田邊 勉	48	56	104	21.6	82.4
14	岡村 克巳	55	58	113	30.0	83.0
15	畑 幸男	56	55	111	27.6	83.4
16	興津 高里	57	59	116	32.4	83.6
17	磯部 晶子	53	61	114	28.8	85.2
18	小長井武夫	58	63	121	34.8	86.2
19	増田 数茂	61	62	123	33.6	89.4
20	永井 賢雄	65	56	121	31.2	89.8
21	大森 泰次	62	52	114	21.6	92.4



# 歩く会 里の梅浦田

鷲野 喜八郎 (S36年卒)

2月中旬、同じ相鉄線沿線の渡辺忠章先輩と待望の硬式野球開幕戦(静商・沼商・浜商の三商大会)を草薙球場まで行くことと決めた折、三月二日の歩く会「田浦梅の里」に参加しませんかとお誘いをいただいた。

今年は何かと「梅林」に縁がある。家のすぐ近くに「大池こども自然公園」(戸塚カントリー)に隣接、47ヘクタールがある。ここを二十数年来、毎朝約80分ウォーキングしている。その一角に梅林があり、梅まつりが催されているのを覗いた。梅の木一本ごとに「雲竜梅」とか「月影」とかの名札がついて、四十種、樹齢三十年もの、鑑賞梅(紅梅が多い)、なだらかな起伏に白梅や枝垂れの配置もよく、約300本の梅の木を見て、改めてその美しさを味わいました。また、所用で大磯まで行った折、大勢の観梅客で賑わう「曾我梅林」を見た。ここは「十郎」という白梅で、なんでも梅酒用や梅干用の品種の



梅林であることを知った。そして、今回の「田浦梅の里」である。暖かく風も無い天候に恵まれ、17名の参加でした。コースはJR横須賀駅→塚山公園→十三峠→田浦梅の里→JR田浦駅で、2つの小高い山頂を登り下りする約四時間のこと。地元の増田さんの先導で十時にスタートした。途中、東京湾のすばらしい眺め、三浦安針夫妻の墓などをおまいりして、急坂の難所「十三峠」を経て、折れ曲がり続く石段を上り詰めて山頂に着く。

2700本の梅林は見事なものである。ここで昼食となる。この梅林は、今の天皇陛下の生誕を記念して、地元有志が植樹してきたそうだ。

この梅は、横須賀ワイン、梅リキュールとして出荷されているそうだ。

この梅林のもうひとつの楽しみは、展望台から眼下に、猿島、観音崎、イージス艦、空母の甲板、遠くに房総半島、近くに金沢シーサイド、ベイブリッジなどのパノラマを一望できることだ。その眺めを十分に満喫して、いよいよ帰路につく。驚くような急階段、急坂を、三十分で下り、JR田浦駅に到着する。

帰りは大船駅で途中下車して、駅前の食堂で乾杯。一人ひとり在学习中の部活動の話など、一言ずつスピーチした。中でも、この「歩く会」の会長の織部さんは富士登山を6回もした。そのうち一回は日帰り登山の記録があるとか、海拔0メートルの吉原からの富士登山こそ本物だという話に盛り上がった。初めての参加でしたが、楽しい一日を過ごすことができた。

**カラオケ同好会 & 他同好会合同忘年会を開催**  
**2007.12.16(日)**  
 池袋駅東口界隈でボウリング+しゃぶしゃぶ食べ放題+カラオケ大会の豪華三本立てで、師走を楽しんだ

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~WeLoveSC/>



## 南足柄市 大雄山最乗寺ウォーク & アサヒビール工場見学 歩く会

増田 数茂 (S37年卒)

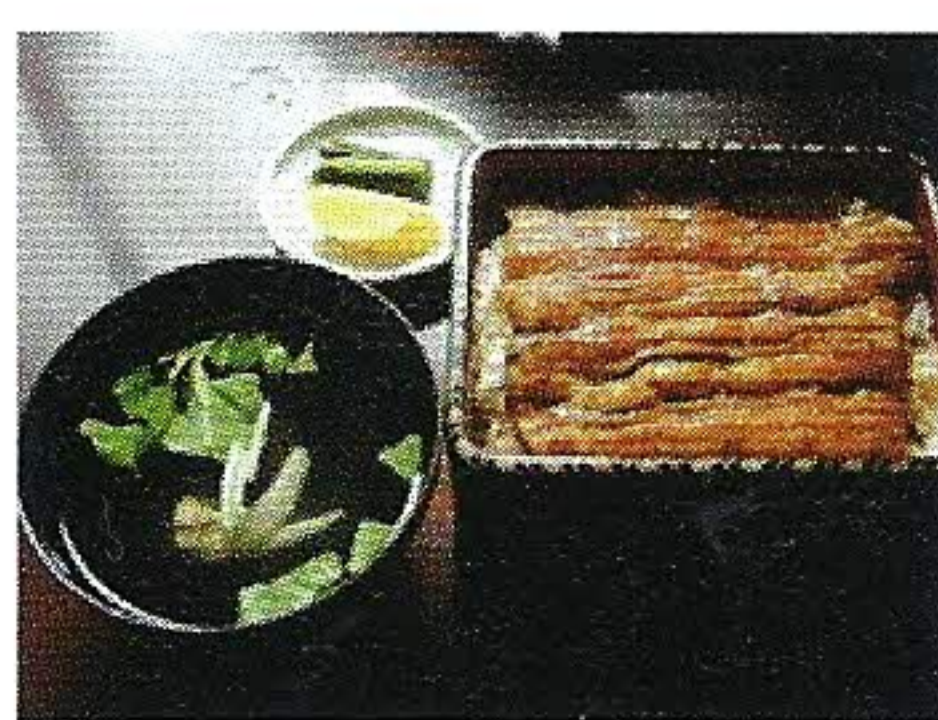
「歩く会」の秋の例会は十月二十日、まさに秋晴れ、爽やかな陽と風の中、14名の参加者で行われた。足取りも軽く、澄んだ空気を一杯に吸い込み、爽快な気分、最乗寺を目指してスタートした。前日の雨のため、自然歩道は滑りやすいので、一般歩道を歩く。木陰からもれてくる陽射しが美しい。軽やかなフットワークで山門に着く。

次の目的地はビール工場見学だ。最新の工場、案内の方のていねいな説明を受けて、さて、出来立ての生ビールの試飲だ。無料だし、鴨の燻製おつまみ付はたまりません！ごちそうさま。例によって小田原駅前の海鮮料理店で完璧な仕上げをして帰る。



南千住駅からJRの線路沿いに細道を歩くこと数分、突如として重厚な門構えのお店が出現します。老舗の風格が漂うこのお店が「尾花」。門の外にまでウナギを焼く香ばしい匂いが漂い、期待感が一気に高まります。門をくぐると、玉砂利の前庭には氏神様が祀られています。外で待つこと十分・・・。

店内は、入れ込み式の大広間で、とても庶民的な雰囲気。鰻重などの出来上がりを待っている間に、燗酒



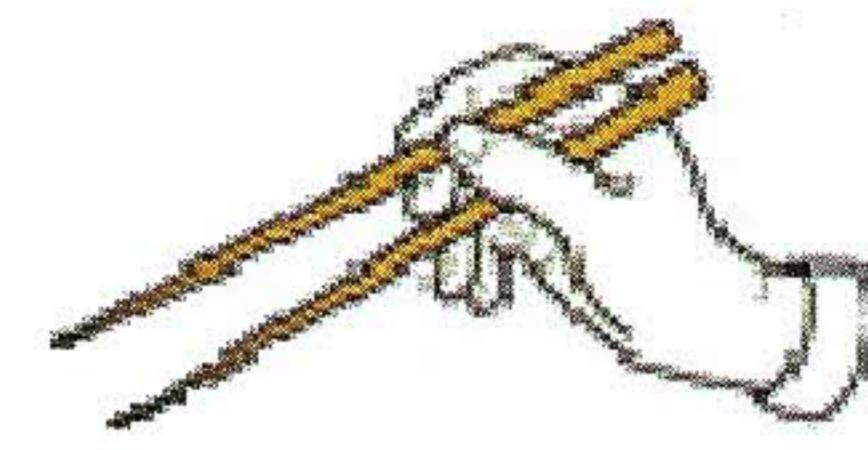
「桜正宗」と一品料理「うざく」「う巻き」「白焼き」を頼む。待ち時間も納得の美味しさ！ウナギはふんわり柔らかくて、噛まなくても口の中でとろけていくようです。生臭さは全くありませんし、タレも甘過ぎなくグッド。絶品！満腹！

【グルメの会 山口ひろみ記】



# 静岡同窓生 のお店紹介

同期会、友人・知人  
家族との会食に、  
語らいの場に、  
ご利用してはいかがが...



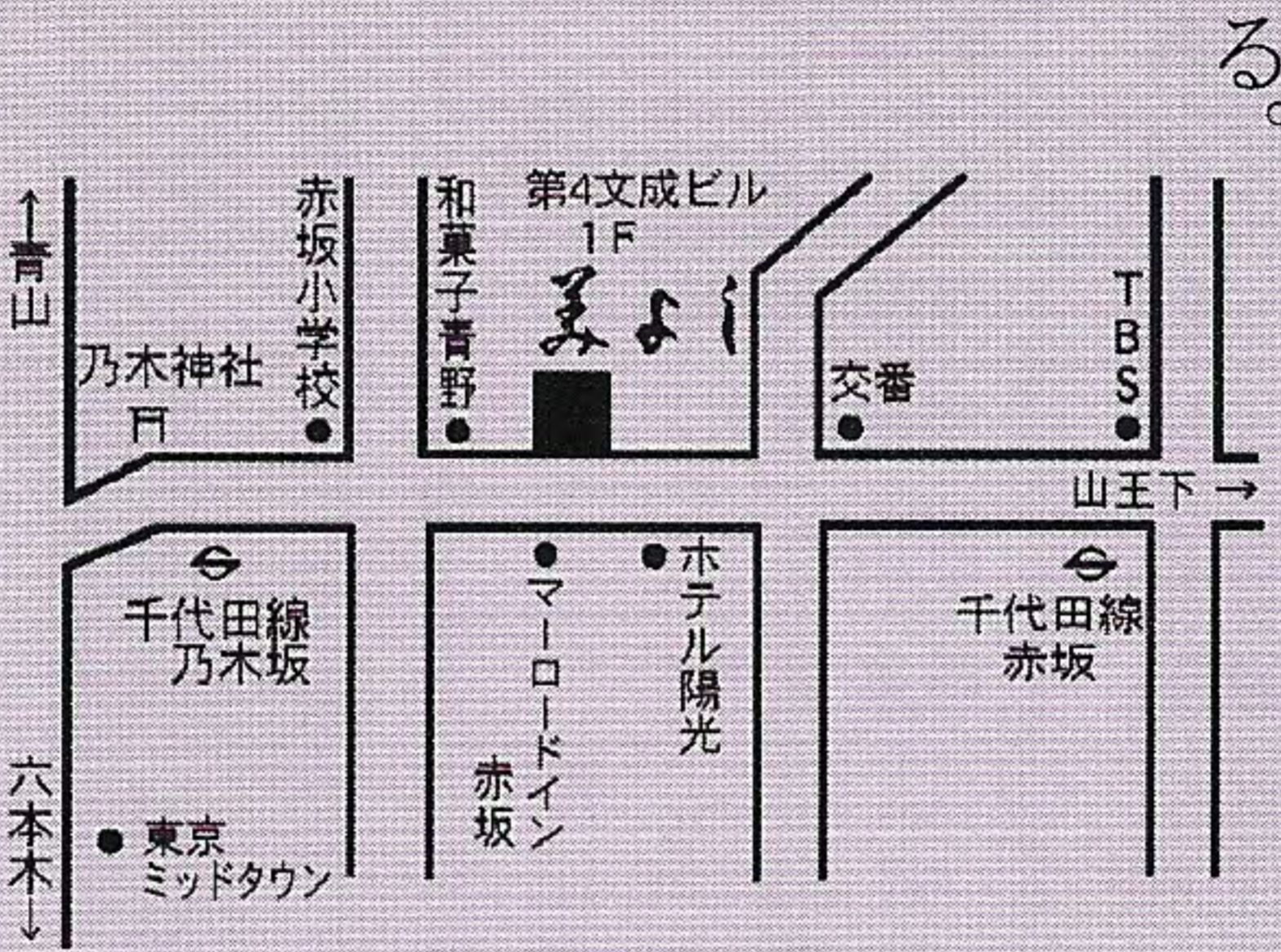
S 48 年卒 齋藤まり子さん  
がシェフの加藤弘樹さんと  
の共同経営で 2006 年 5  
月にオープンし今年で 3 年  
目を迎える。  
和、中、伊、仏、タイ料  
理と様々な味が楽しめ、お  
まかせコースは一押しメニ  
ュー。様々な年齢層に人気  
で、家族連れや女性客の心  
をつかんでおり、リピータ  
も多い。

ランチは日替わりで一種類  
だが、毎日通うお客もいる  
ほど好評である。美味しい  
料理とゆったりくつろげる  
空間、気の利いたサービス  
で居心地のよいひと時を過  
ごすことが出来る。  
オープン以来、静岡の同  
期や先輩が集まることもし  
ばしば。普段はパーティシ  
ョンで区切られたプライベ  
ートを外すと 35 名まで利用で  
きるため、同窓会などの集  
まりにも最適である。

ランチは日替わりで一種類  
だが、毎日通うお客もいる  
ほど好評である。美味しい  
料理とゆったりくつろげる  
空間、気の利いたサービス  
で居心地のよいひと時を過  
ごすことが出来る。  
オープン以来、静岡の同  
期や先輩が集まることもし  
ばしば。普段はパーティシ  
ョンで区切られたプライベ  
ートを外すと 35 名まで利用で  
きるため、同窓会などの集  
まりにも最適である。

## お料理 美よし

東京港区 赤坂通りに面  
したビルの一階に『美よし』  
がある。経営者は、S41 年  
卒で硬式野球部出身の**大石  
正年さん**。女将さんは、和  
服の似合うしつとりと穏や  
かな日本人。  
カウンターは、七・八席、  
お座敷は、個室を含めて二  
十席の落ち着いたお店だ。  
料理は、店名から想像とお  
り和食であるが、お造り・  
主菜・豊富なサイドメニュー



電話 03-3583-3868

等どれをとっても一流料亭  
で磨いた腕だけあって思わ  
ず食する者を唸らせる。  
お奨めの酒は飲み口のよ  
い新潟の「越の白梅」、焼酎  
は本場 鹿児島産の「越天  
楽・島美人・ちよっぺん」  
等、芋も麦も取り揃えてい



予約をしておけば、土曜  
日でも OK のこと。料理  
がうまいので、酒もすすむ  
し、女性を含めた同期会の  
会場としても最適である。



三軒茶屋 南口 A2 出口  
徒歩 2 分  
世田谷区太子堂 1・12・24  
03-3422-5416  
日曜定休  
ランチ 十一時半～一時半  
ディナー 十八時～二十四時



品川区大崎 3-5-2 JR大崎駅  
エステージ大崎 107 西口徒歩 3 分  
電話 03-3779-3895  
日曜・祭日・第 3 土曜日 定休  
営業時間 ランチ 11:30~13:30  
夕食 17:00~22:00  
河田 正勝(S39 年卒)

あつあつの  
てんぷら  
新鮮な刺身料理

## Seabornia Mens Club

30 余年の歴史に磨かれた本格的な会員制レストラン



一流の料理人達による食の饗宴、  
和洋料理の真髄をご堪能いただけます。

ランチ (月~土) 11:30~14:00 (一般利用可)  
ディナー (月~金) 17:00~23:00 (会員のみ)  
土・日・祝日はパーティーでご利用いただけます。  
東京都千代田区内幸町 2-1-4 日比谷中日ビル 1F  
TEL03-3503-6301 FAX03-3504-0758

詳細は <http://www.seabornia.co.jp/mensclub.html> をご覧ください。

株式会社ピッドコーポレーション <運営店舗>  
代表取締役社長 田邊 勉 (S40 年卒) シーボニアメンズクラブ (東京内幸町)  
東京都千代田区内幸町 2-1-4 星陵会館シーボニア (東京永田町)  
日比谷中日ビル 4F 〒100-0011 音羽倶楽部レストラン (前橋市)  
TEL03-3501-5039 FAX03-3501-5029 ノリタケテラス (厚木市)  
<http://www.seabornia.co.jp>

## 自然景観に恵まれた湯の里

# 湯宿 嗟峨沢館

〒410-3209  
静岡県伊豆市門ノ原 400-1  
TEL 0558-85-0115

<http://www.sagasawakan.com/>  
植田 麻巳(S38 年卒)



### 静岡同窓会関東支部役員名簿

役職名	卒年	氏名	住所
顧問	昭25	湯本 克巳	東京都文京区
支部長	30	海野 昭	東京都板橋区
副支部長	32	宗野 治義	東京都港区
副支部長	37	西島一二三	藤沢市
幹事長	42	小林 幸義	松戸市
副幹事長	48	青木 洋一	東京都品川区
会計	34	鈴木 啓嗣	横浜市泉区
会計監査	32	織部 忠義	藤沢市
会計監査	38	鈴木 一晴	東京都中野区
常任幹事	29	山田 雅子	宇都宮市
常任幹事	31	長谷川 勉	船橋市
常任幹事	36	平井 幸雄	八王子市
常任幹事	37	増田 数茂	横須賀市
常任幹事	38	杉本 博行	東京都足立区
常任幹事	40	原 初典	町田市
常任幹事	42	山口ひろみ	さいたま市中央区
常任幹事	43	長橋 修	千葉市緑区
常任幹事	43	富田 正巳	相模原市
常任幹事	49	高山 房之	市川市
常任幹事	平6	若尾 剛志	西東京市

幹事					
卒年	氏名	住所	卒年	氏名	住所
昭16	田中幸太郎	茅ヶ崎市	昭41	小林 吉照	横浜市港南区
20	久保 弥六	東京都中央区	41	松本 豊	我孫子市
21	嶋田 安雄	船橋市	42	高塚 利明	横浜市都筑区
23	関 勉	八千代市	43	鈴木 幸夫	横浜市神奈川区
24	後藤 一雄	船橋市	44	星野 修司	東京都杉並区
24	森下 壹雄	柏市	45	安藤 俊	春日部市
24	内藤 義人	鎌ヶ谷市	45	大石 倫義	横浜市戸塚区
26	天野 覚	国分寺市	46	稲葉 和男	東京都杉並区
27	池田 博之	我孫子市	47	久村 澄江	調布市
28	知光 敬矩	東京都杉並区	48	渡部 広志	佐倉市
28	上山 富義	藤沢市	49	井原 治	横浜市神奈川区
29	榊原 貞夫	東久留米市	49	芳澤 正明	茂原市
30	大森 泰次	越谷市	50	杉本 幸雄	東京都板橋区
30	古井 陸志	立川市	51	萩原 克則	入間市
31	一色 正一	川崎市麻生区	51	井上真理子	川崎市麻生区
31	渡辺 忠章	大和市	54	矢部 正志	鳩ヶ谷市
32	木佐森達夫	東京都杉並区	55	岩出小夜子	東京都杉並区
33	曾我 和善	東京都杉並区	56	小菅 秀子	市川市
33	薩埵 英司	東京都品川区	57	倉澤 幸靖	横浜市戸塚区
34	小長井武夫	東京都新宿区	57	石井 徹	横浜市保土ヶ谷区
35	秋山 卓男	柏市	58	田中 彰二	横浜市神奈川区
35	中川 明巳	東京都練馬区	平6	浦田 輝	東京都台東区
36	前山 忠弘	さいたま市緑区	12	村松 太一	府中市
37	長谷川英樹	横浜市青葉区	16	李 慎	横浜市神奈川区
38	梶山 恭一	西東京市	18	杉田 歩	船橋市
39	川崎 衛	調布市	18	萩原 裕也	川崎市多摩区
39	青柳 秀雄	海老名市	19	稲口 順弘	八王子市
40	中畑 稔	千葉市若葉区	19	北原 拓哉	日野市

(注) 個人情報保護の為、  
住所・電話番号を非表示としました。

### 平成19年度 会計報告

#### 1. 一般会計(平成19年4月1日より平成20年3月31日まで)

区分	項目	実算額	
収入の部	前期繰越金	97,386	
	収入項目	総会会費	1,214,635
		年会費	600,000
		寄付金	419,000
		会報広告収入	120,000
		預金利息等	445
	小計	2,354,080	
合計	2,451,466		
支出の部	総会費用	1,402,733	
	支出項目	会報発行費	423,160
		専門部会活動費	133,301
		会議費	144,833
		運営諸経費	179,933
	小計	2,283,960	
	支部基金組入	50,000	
次期繰越金	117,506		
合計	2,451,466		

#### 2. 基金会計

(単位:円)

項目	金額
支部基金	
前年度末残高	3,500,000
本年度収支	50,000
本年度末残高	3,550,000

#### 3. 財産目録(平成20年3月31日現在)

項目	金額
銀行預金	117,506
郵便貯金	3,550,000
合計	3,667,506

上記の通りご報告いたします。

平成20年4月26日  
静岡同窓会関東支部 会計 鈴木啓嗣 ㊞

監査の結果、

上記の報告に相違なく、適正である事を認めます。  
平成20年4月26日

静岡同窓会関東支部 会計監査 織部忠義 ㊞  
会計監査 鈴木一晴 ㊞



## 会費・寄付等納入者御芳名

(敬称略:順不同:単位千円)

会員の皆様の暖かいご支援、ご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。平成 20 年 3 月までにご納入頂いた方々のご芳名を下記の通りご報告申し上げます。名簿作成に当たっては、誤字、記載漏れ等のないよう注意しておりますが万一不手際がございました場合は深くお詫び申し上げます。(注) 氏名の右\*印は総会出席者を示します。

昭10年 中村克己 2*	昭28年 鈴木基之 2	昭32年 織部忠義 7*	昭36年 海野 治 2*	昭38年 牧野正嗣 2	昭43年 長橋 修 2*
昭10年 海野次郎 2	昭28年 知光敬矩 2	昭32年 木佐森達夫 7*	昭36年 増田勝江 4*	昭38年 増田 実 2	昭43年 秋山八重子 2*
昭14年 天野八郎 2	昭29年 宮川欣也 3.5*	昭32年 松木交市 2	昭36年 前田雄幸 2*	昭38年 互井まり子 2	昭43年 八木訓二 2*
昭14年 中村雅夫 5	昭29年 山本欽之 2*	昭32年 岩下寛治 2	昭36年 平井幸雄 2*	昭38年 八木勝司 2	昭43年 鎌田和枝 2*
昭15年 茨木 弘 2	昭29年 三森光雄 2*	昭32年 黒瀬 明 2	昭36年 土岐守行 2*	昭39年 杉山俊夫 2*	昭43年 瀧浪利信 5*
昭16年 花島正義 2*	昭29年 宮杉 享 2*	昭32年 堤 正義 2	昭36年 松平俊男 4*	昭39年 杉山千之 2*	昭43年 岡本朗子 2
昭16年 山村富春 2*	昭29年 小坂悦男 2*	昭32年 植野大次郎 2	昭36年 横島啓枝 5*	昭39年 青柳秀雄 4*	昭43年 原木妙子 2
昭16年 田中幸太郎 10	昭29年 永井賢雄 4*	昭32年 吾郷裕子 2	昭36年 高木英雄 2*	昭39年 遠藤利雄 2*	昭45年 大石倫義 2*
昭16年 山村智策 10	昭29年 小松英夫 2*	昭32年 松本一宇 10	昭36年 杉山 篤 3*	昭39年 川崎 衛 4*	昭45年 宮原 茂 2
昭16年 石川要一 2	昭29年 阿部勝子 3.5*	昭32年 山島利一 2	昭36年 前山忠弘 4*	昭39年 檜林 勝 2*	昭46年 大野康彦 2
昭17年 石月啓司 2	昭29年 鈴木正子 3.5*	昭33年 薩埵英司 2*	昭36年 大石康年 2*	昭39年 杉山賢次 2*	昭46年 杉山齡一 2
昭17年 前田謙治 2	昭29年 山岸光男 2*	昭33年 秋山賢司 2	昭36年 小長井建昭 5*	昭39年 近藤正躬 2*	昭46年 三石輝子 2
昭19年 清水 武 2	昭29年 興津高里 4*	昭33年 曾我和善 4	昭36年 石井清史 2*	昭39年 河田正勝 7	昭47年 青木輝美 2.5*
昭20年 久保弥六 2*	昭29年 山田雅子 3.5*	昭33年 野呂瀬誠子 2	昭36年 筒井熙子 2*	昭39年 山内 功 2	昭47年 森田昌代 2
昭20年 宇佐美益司 2*	昭29年 川村通裕 4*	昭33年 上條佐恵子 5	昭36年 渡辺秀世 4*	昭39年 足立久男 2	昭48年 相川雅美 2*
昭21年 嶋田安雄 2	昭29年 浦山 實 2	昭33年 古牧義司 2	昭36年 上杉隆信 4*	昭39年 清水 豊 15	昭48年 仁田直機 2*
昭22年 比奈地徳三 2	昭29年 原田雄吉 2	昭33年 本間好武 2	昭36年 池ヶ谷捷之 4	昭39年 小林 直 2	昭48年 杉本芳子 4*
昭23年 関 勉 7	昭29年 榊原貞夫 3	昭34年 桑原達夫 5*	昭36年 田中貞雄 2	昭40年 関塚仍子 12*	昭48年 金子千恵子 3.5*
昭24年 石田徳次郎 2*	昭29年 上野山三平 2	昭34年 鈴木啓嗣 2*	昭36年 松下 孝 2	昭40年 中畑 稔 2*	昭48年 渡部広志 2.5*
昭24年 後藤一雄 2.5*	昭29年 安池 貢 2	昭34年 常盤秀樹 4*	昭36年 柳田 享 2	昭40年 原 初典 7*	昭48年 豊岡弘子 2.5*
昭24年 山本昭吾 2*	昭29年 阿井淑晴 2	昭34年 伏見重夫 4*	昭37年 鈴木 守 2*	昭40年 小早川宏 2*	昭48年 青木洋一 3*
昭24年 油井徳二 2*	昭29年 大畑徳祐 2	昭34年 水野恵司 2*	昭37年 西島一二三 4*	昭40年 神山 孝 2*	昭48年 小澤令子 3.5*
昭24年 内藤義人 2*	昭29年 大畑辰雄 2	昭34年 小長井武夫 2.5*	昭37年 松田 弘 12*	昭40年 田邊 勉 2.5*	昭48年 富井商之 2
昭24年 里見勝弘 5	昭29年 鈴木郭之 2	昭34年 畑 幸男 2*	昭37年 大石恒雄 2*	昭40年 森谷綾子 2	昭48年 及川のり子 2
昭24年 深尾 孝 2	昭30年 海野 昭 52*	昭34年 青木利浩 2	昭37年 長谷川英樹 6*	昭40年 見城正博 2	昭48年 斉藤まり子 5
昭24年 森下壹雄 7	昭30年 佐藤富士夫 4*	昭34年 大村隆明 2	昭37年 増田数茂 7*	昭40年 長田 豊 2	昭48年 中野克利 2
昭24年 増田和也 2	昭30年 古井陸志 2*	昭34年 菊川孝夫 2	昭37年 松田厚子 2	昭41年 福島正五 2*	昭48年 吉澤則子 2
昭24年 山本直樹 2	昭30年 堀内鋒行 2*	昭34年 久野千加士 2	昭37年 山崎邦夫 2	昭41年 小林吉照 4*	昭48年 森 隆幸 2
昭24年 前田俊夫 2	昭30年 服部 勤 2*	昭34年 柴 義弘 2	昭37年 安川榮子 2	昭41年 矢込俊吾 2*	昭49年 芳澤正明 4*
昭25年 湯本克己 39*	昭30年 大村光平 2*	昭34年 高木美子 2	昭37年 中田有智子 2	昭41年 福石 守 2*	昭49年 高山房之 6.5*
昭26年 天野 覚 2*	昭30年 大森泰次 2	昭34年 竹内祥子 2	昭37年 牧野幸雄 2	昭41年 高木光子 2	昭49年 佐合陽子 4*
昭26年 福岡正浩 2	昭30年 亀山勝雄 2	昭34年 田村富男 2	昭37年 青島幸一 2	昭41年 藤田久恵 2	昭49年 醍醐寧子 4*
昭26年 村越英夫 5	昭30年 高木慶二 2	昭34年 土屋堅固 2	昭37年 大橋良夫 2	昭41年 坊野秀美 2	昭49年 秋田秀幸 6.5*
昭27年 望月健三郎 4*	昭30年 成岡 武 2	昭34年 平井シズヨ 2	昭37年 (故)花村幸作 10	昭41年 坊野やえ子 2	昭49年 小澤富美子 4*
昭27年 池田博之 2*	昭30年 服部善男 2	昭34年 三尾規子 2	昭38年 浅場利朗 2*	昭41年 松本 豊 5	昭49年 井原 治 2.5*
昭27年 梅田定男 3	昭30年 堀田英夫 2	昭34年 戸井政広 2	昭38年 岡村 優 2*	昭41年 土方八重子 2	昭49年 内田 晃 2*
昭27年 関根進一郎 2	昭30年 望月昌房 3	昭34年 安池和高 2	昭38年 梶山恭一 7*	昭42年 小澤真喜子 2*	昭49年 佐竹清美 4*
昭27年 志田 実 2	昭31年 渡辺忠章 4.5*	昭35年 秋山卓男 7*	昭38年 小泉 慧 2*	昭42年 小林幸義 4*	昭49年 大塚典子 4*
昭27年 寺田勝美 2	昭31年 義村貴一 2*	昭35年 坊野清之 7*	昭38年 杉本博行 2*	昭42年 山口ひろみ 4*	昭49年 室井千歳 4*
昭27年 近藤柳太郎 2	昭31年 長谷川勉 7*	昭35年 鈴木春恵 4*	昭38年 鈴木一晴 5*	昭42年 高塚年明 4*	昭49年 遠藤求身 8
昭27年 波多野克哉 2	昭31年 木村明雄 2*	昭35年 山田昌之 2*	昭38年 松木範一 2*	昭42年 吉野秀男 2*	昭49年 手塚文子 2
昭27年 (故)藤浪稔央 2	昭31年 山田正彦 5*	昭35年 小島利明 2*	昭38年 吉田茂夫 2*	昭42年 北川陽子 2	昭51年 川守 宏 3*
昭27年 安田春雄 2	昭31年 一色正一 2*	昭35年 芹澤輝俊 7*	昭38年 吉澤英夫 22*	昭42年 小坂橋米子 2	昭51年 井上真理子 2
昭27年 磯部信雄 2	昭31年 山内五郎 2	昭35年 中川明巳 2*	昭38年 佐藤 亘 2*	昭42年 古知 潔 2	昭55年 川坂千鶴 2
昭27年 斎藤 健 2	昭31年 紅林 勲 2	昭35年 金子きのえ 2	昭38年 五十嵐昭夫 2	昭42年 小貫聖子 2	昭57年 石井 徹 4*
昭27年 八木陽司 2	昭31年 植田昌宏 2	昭35年 鈴木祐輔 2	昭38年 小澤昌明 10	昭42年 高山康明 2	昭58年 若月万祐子 2
昭27年 伊東越朗 2	昭31年 井上孝信 2	昭35年 市川幸子 2	昭38年 後藤忠昭 2	昭43年 岩下喜美枝 2*	平06年 若尾剛志 4*
昭27年 上田伸子 2	昭31年 笹下日出男 2	昭35年 青木正和 10	昭38年 斎藤誠治 2	昭43年 金田京子 4*	平13年 鈴木千晴 2
昭27年 朝比奈一郎 2	昭32年 松井邦浩 2*	昭35年 宗野賢次 2	昭38年 花村磯男 2	昭43年 佐藤秀子 2*	平18年 杉田 歩 1*
昭28年 藁科年衛 2*	昭32年 阿井勝利 22*	昭35年 杉山睦朗 2	昭38年 福嶋春子 2	昭43年 富田正巳 2*	平18年 松岡辰樹 1*
昭28年 上山富義 2*	昭32年 宗野治義 7*	昭36年 鷲野喜八郎 2*			

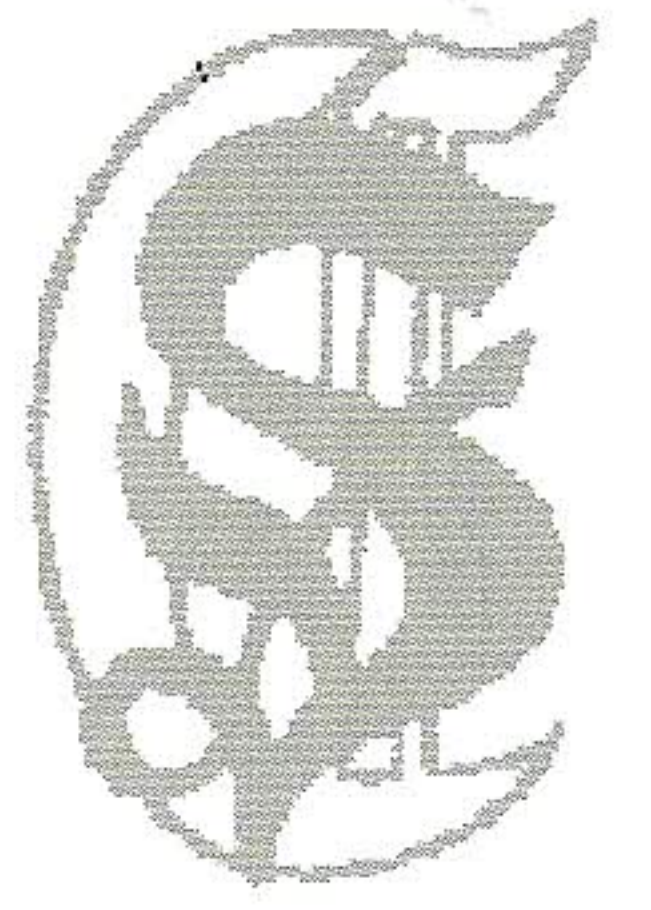
会費・寄付金合計(303名分)1,019,000円





平成20年度 静商同窓会関東支部

# 総会・懇親会のご案内



ビッグなSEISHOショー

トークショー  
ブラスバンド演奏  
応援パフォーマンス

## 7/12 土

開会 12:00～(受付 11:30)  
(東京プリンスホテル・前庭)  
ガーデンアイランドへ

(静商にS34～S48年在任)  
恩師・阿内洋樹先生来る

先輩・後輩・同期と語る  
校歌・応援歌を歌う

### 出会い

昔を懐かしみ

### ふれあい

今を愉快地に

### 青春再び

明日の活力を

ビック  
ニュース  
1

あの スマイル王子こと

### 大野君がやって来る



### 甲子園出場主力メンバー も一緒に、あの感動を再び

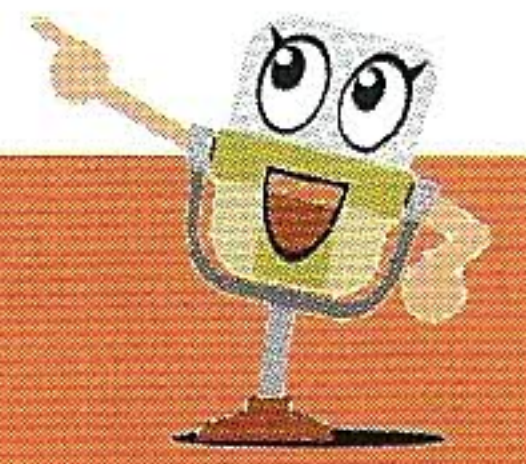
(トークショー必見)

ビック  
ニュース  
2

あの 32年ぶり甲子園出場の実況を

### NHKスポーツアナが解説

甲子園の実況中継歴 25 年の  
地元静岡出身の静商ファンの  
NHK・佐塚元章スポーツアナウンサー



ビック  
ニュース  
3

あの 定期演奏会がとうとう実現

### 静商ブラバンがやってくる

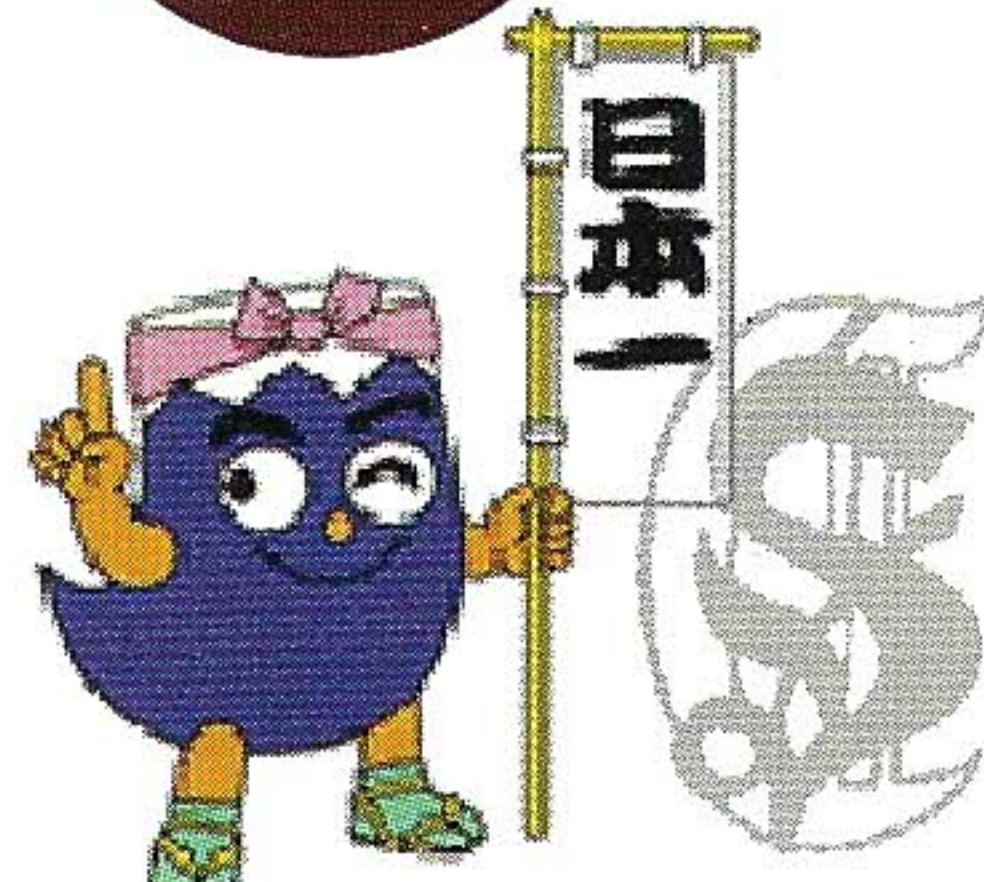
静商音楽部同窓会(関東支部のOBも  
加わって)が、昔懐かしい名曲を演奏

もちろん 静商応援団OB&チアOGも

ビック  
ニュース  
4

あの 地元の土産物が一杯

### 地元静岡名産がたっぷり



せきべ屋の「安倍川餅」  
由比の「桜海老」  
手作り「わさび漬け」  
地元焼酎「ちゃつきり節」

詳しくは号外をご覧ください